



取扱説明書

SS0407E/SS0607E/S0607/S0607E/S0808/S0
808E/
AS1012

シザース式高所作業車

⚠ 警告

操作者と保守担当者は、本機械の操作と保守を行う前に本説明書を読んで理解しておく必要があります。これを怠ると、死傷事故を招くおそれがあります。本説明書は、関係者が読んで参照できるように適切に保管する必要があります。

臨工集團濟南重機有限公司

LINGONG GROUP JINAN HEAVY MACHINERY CO., LTD

高所作業車

取扱説明書

880*1230mm 16判型 8枚

2020年12月2版 2020年12月初版印刷

臨工集團濟南重機有限公司

住所：中国山東省濟南市歷下区經十路9777号魯商国奥城3号棟12階

電話番号：86-0531-67605017 テクニカルサービス：86-0531-67605017

ファックス：86-0531-67605017 部品販売：86-0531-67605016

ホームページ： www.lgmg.com.cn

目次

はじめに.....	II
安全上の注意.....	IV
第 1 章 安全.....	1
第 2 章 図の説明.....	15
第 3 章 ラベル.....	19
第 4 章 仕様.....	42
第 5 章 コントローラー.....	50
第 6 章 操作前点検.....	56
第 7 章 作業エリアの点検.....	61
第 8 章 機能試験.....	65
第 9 章 操作説明.....	72
第 10 章 クレーンを使用した機械の搬送について.....	88
第 11 章 付録.....	97

はじめに

このたびは、臨工集団済南重機有限公司製の高所作業車をご購入くださり、まことにありがとうございます。本説明書では、安全ガイドと機械の正しい使用と保守のためのシザース式高所作業車の機構、駆動と操作、保守と調節、技術パラメーターと保守調節データについて説明します。

本機を最大限に活用することは、当社とお客様の双方にとっての共通目標です。この目標を達成できるかどうかは、どれだけ機械に精通しているか、どれだけ慎重にかつ徹底的に機械を保守するかに大きく左右されます。初めて機械を起動して操作する前、また機械の修理や保守を行う前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、記載されている操作や保守を快適に行ってください。

本説明書のイラストや説明文は発行時のものですが、製品の構造や性能は常に改良および整備されております。設計変更、操作や保守の説明は予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。機械の最新情報や本説明書に関するご質問は、弊社までお問い合わせください。

本説明書の対象となる機種は、シザース式高所作業車製品です。使用者は、保守スケジュールに記載の保守間隔に従って保守を行うようにしてください。

本説明書は、いつでも読めるように、常に所定の場所に置いておくようにしてください。本説明書は機械にとって不可欠なものです、所有権や使用权を移転する際は、本説明書も一緒に渡してください。本説明書を紛失または破損するか、読めなくなった場合は、速やかに交換してください。

本説明書の著作権は、臨工集団済南重機有限公司に帰属し、弊社の書面による許可なく複製または転載することはできません。



- 専門的な訓練を受けた有資格者のみが、本機の操作、修理、保守を行うことができます。
- 誤った操作、保守、修理は危険であり、人身の死傷の原因となるおそれがあります。
- 操作者は、本機の操作や保守の前に、本説明書を注意深く読む必要があります。

本説明書を読まずに内容を理解していない場合は、本機の操作、保守、修理を行わないようにお願いいたします。

- 負荷をかける際は定格負荷を遵守してください。過負荷または不正な改造に起因する一切の結果については、使用者が責任を負うものとします。
- 本説明書に記載されている操作手順と注意事項は、本機を本来の目的で使用する場合にのみ適用されます。指定されているが禁止されていない操作に使用する場合は、その操作がご自身や他人に害を及ぼさないようにしてください。
- 使用者は、本説明書に記載されている安全要件に従って機械を操作するようお願いいたします。安全要件を遵守しない場合に機械の違法な操作によって引き起こされる一切の結果については、使用者が責任を負うものとします。

安全上の注意

操作者は、現在の国や地域の安全規制を理解し、それを遵守する必要があります。国や地域の規制がない場合は、本説明書の安全に関する指示が適用されます。

ほとんどの事故は、機械の操作や保守に関する規則に従わなかったことが原因で発生しています。事故を未然に防ぐため、操作や保守の前に、本説明書と本機のすべての警告要件および注意事項を読み、理解し、遵守してください。

安全対策については、第1章「安全」で詳しく説明しています。

起こりうるすべての危険を予見することは不可能であるため、本説明書と本機の安全上の注意事項に、安全上の注意事項をすべて記載することはできません。本説明書で推奨されていない手順や操作を行う場合は、自分や他人の安全を確保し、機械に損傷を与えないようにしなければなりません。操作の安全性に不安がある場合は、当社または販売店にお問い合わせください。

本説明書に記載されている操作、保守に関する注意事項は、本機を本来の目的で使用する場合にのみ適用されます。本説明書に記載されていない範囲で使用した場合、当社はその安全性について一切の責任を負いません。このような操作における安全上の責任は、使用者と操作者が負うものとします。

本説明書で禁止されている操作は、いかなる場合であっても行ってはなりません。

本説明書に記載の安全に関する情報を区別するために、下記のマークが使用されます。

 危険-回避しないと、深刻な傷害または死亡につながる危険な状況が発生します。この用語は、回避しないと機械に重大な損傷を与える場合にも使用されます。

 警告-回避しないと、深刻な傷害または死亡につながる可能性のある危険な状況が発生するおそれがあります。この用語は、回避しないと機械に重大な損傷を与える可能性がある場合にも使用されます。

 注意-回避しないと軽度または中程度の傷害を引き起こす可能性があります。この用語は、回避しないと機械に損傷を与えたり、機械の寿命を縮めたりする可能性がある場合にも使用さ

れます。

第 1 章 安全

 危険

本説明書中の指示と安全に関する規則に従わなければ、死亡または重傷事故が発生します。

 警告：下記の場合を除いて機械を操作

することはできません。

本説明書中の機械を安全に操作するための規則を理解し、実施している。

危険な状況を避ける。次の手順に進む前に、安全上の規則を把握し、理解する。

操作前点検を必ず実施する。

使用前の機能試験を必ず実施する。

作業エリアを点検する。

機械設計の適用範囲内でのみ使用する。

製造元の指示と安全上の規則（操作説明書と機械に付されているマーク）を読み、理解し、遵守する。

使用者の安全上の規則と作業エリアの規則を読み、理解し、遵守する。

該当するすべての政府の法令や規制を読み、理解し、遵守する。

機械を安全に操作するための適切な訓練を受けている。

 注意：危険の種類

臨工重機製品で使用されている記号、色付きマーク、記号の意味は下記のとおりです。安全警告マーク-人的傷害の可能性を警告するために使用されます。人的傷害または死亡の可能性を回避するために、このマークが意味するすべての指示に従ってください。



750KV	
750KV～ 1000KV	13.72m



電圧	必要な間隔
0～300V	手を触れないでくだ さい
300V～50V	3.05m
50KV～ 200KV	4.6m
200KV～ 350KV	6.10m
350KV～ 500KV	7.62m
500KV～	10.67m

赤色——危険な状況を示します。回避しないと、死亡または重傷を負います。

オレンジ色——危険な状況を示します。回避しないと、死亡または重傷を負う可能性があります。

黄色——危険な状況を示します。回避しないと、軽度または中程度の人的傷害を招く可能性があります。

青色——危険な状況を示します。回避しないと、物的損害をまねく可能性があります。

1.1 設計用途

本機の用途は、作業員と工具や資材を高所作業エリアに持ち上げる場合に限られます。

1.2 安全標識の整備

操作者が常に安全を念頭に置いて作業できるように、安全標識が紛失または損傷した場合は適宜交換してください。

安全標識を洗浄する際は、中性洗剤と水を使用します。

溶剤系洗浄剤は、安全標識の材質を損なうおそれがあるため、使用しないでください。

感電の危険

- 本機は絶縁されておらず、電力線に接触または接近した場合に、感電を防ぐことはできません。該当する政府の法規制と下表の指示に従って、送電線および電気機器から十分な距離を置いて安全を確保してください。
- 強風や突風が作業台の動きや電力線の揺れ、たるみに与える影響も考慮します。

型番（注文番号）	SS0407E(S0407SDQJE10)			
最大許容作業人数	屋内	2	屋外	1
最大積載荷重	屋内	240Kg	屋外	240Kg
延長デッキ積載荷重	屋内	113Kg	屋外	113Kg
型番（注文番号）	SS0607E (S0607SDQJE10)			
最大許容作業人数	屋内	2	屋外	-
最大積載荷重	屋内	230Kg	屋外	-
延長デッキ積載荷重	屋内	120Kg	屋外	-
型番（注文番号）	S0607 (S06070DQJH10)			
最大許容作業人数	屋内	2	屋外	-
最大積載荷重	屋内	230Kg	屋外	-
延長デッキ積載荷重	屋内	120Kg	屋外	-
型番（注文番号）	S0607E (S06070DQJE10)			
最大許容作業人数	屋内	2	屋外	-
最大積載荷重	屋内	230Kg	屋外	-
延長デッキ積載荷重	屋内	120Kg	屋外	-
型番（注文番号）	S0808 (S08080DQJH10)			
最大許容作業人数	屋内	2	屋外	-
最大積載荷重	屋内	230Kg	屋外	-
延長デッキ積載荷重	屋内	120Kg	屋外	-
型番（注文番号）	S0808E (S08080DQJE10)			
最大許容作業人数	屋内	2	屋外	-

最大積載荷重	屋内	230Kg	屋外	-
延長デッキ積載荷重	屋内	120Kg	屋外	-
型番 (注文番号)	AS1012 (S10120DQJH10)			
最大許容作業人数	屋内	2	屋外	1
最大積載荷重	屋内	320Kg	屋外	320Kg
延長デッキ積載荷重	屋内	120Kg	屋外	120Kg

- 機械が活線に接触した場合は、機械から離れてください。地上または作業台上の作業員は、電源を切る前に機械に触れたり、機械を操作したりしないでください。
- 雷や暴風雨の中で機械を操作しないでください。
- 溶接中は機械をアース線として使用しないでください。
- 充電中は充電器に触れないでください。

転倒の危険

作業台上の作業員、設備、資材は、作業台と延長デッキの最大積載量を超えてはなりません。

1.3 作業エリアの安全



警告：「1.3 作業エリアの安全」に記載

載の要件に従わずに機械を操作した場合に引き起こされる一切の結果については、使用者が責任を負うものとします。

- 1) 作業台は、堅固で平らな地面でのみ上昇させることができます。
- 2) 作業台を一定の高さまで上げたときに、機械を 0km/時間を超えて走行させないでください。
- 3) 傾斜アラームは水平検知インジケータとして使用できません。シャーシと作業台の傾斜アラームは、機械が大きく傾斜している場合にのみ鳴ります。
- 4) 傾斜アラームが鳴った場合は、作業台を下ろし、機械を堅固で平らな地面に移動します。作業台を上げたときに傾斜アラームが鳴る場合は、作業台を慎重に下ろします。
- 5) 機械を屋外で使用するときに、風速が 12.5m/秒を超える可能性があれば、作業台を上げることはできません。作業台を上げてから、風

速が 12.5m/秒を超えた場合は、直ちに作業台

速度を落として走行させてください。

を下げ、機械の操作を停止します。機械を屋

12) 作業台を上げた状態では、不整地、不安定、

内で使用するとき、最大風速が 0m/秒を超

その他の危険な場所を走行することはでき

えない場所で使用します。

ません。

6) 機械の周囲温度は-20℃～40℃です。

13) 作業台の上にある物を押したり引っ張った

7) 機械を使用する環境の相対湿度は、90%

りしないでください。

(20℃) を超えてはなりません。

14) 機械をクレーンとして使用しないでくださ

8) 機械の電源電圧の許容変動は±10%です。

い。

9) 強風や突風の中で機械を操作しないでくだ

15) 機械のいかなる部分にも物を置いたり、縛っ

さい。作業台または荷重の表面積を増やすこ

たり、吊るしたりしてはいけません。

とはできません。風にさらされる表面積が増

16) 作業台で他の機械や物などを押してはいけ

えると、機械の安定性が低下します。

ません。

10) 作業台の動きがスムーズでなかったり、動か

17) シャーシトレイを開いまま機械を操作し

なくなったり、付近の障害物が機械の動作を

ないでください。

妨げているときに、作業台を解放しようとし

18) 作業台を隣接する建物に寄りかけないでく

て上部操作装置を使用することはできません。

ださい。

ん。地上操作装置を使用して作業台を解放す

19) リミットスイッチを変更または無効にする

る前に、すべての作業員は作業台から離れな

ことはできません。

ければなりません。

20) 作業台を隣接する構造物に縛り付けないで

11) 不整地、砂利道、不安定な路面や滑る路面、

ください。

穴の近く、急な斜面などを移動する場合は、

21) 作業台手摺りの外側に物を置かないでくだ

作業台を下げた状態で、細心の注意を払い、

さい。

22) 製造元の書面による許可なしに、高所作業車を改造または改修しないでください。作業台、ペダル、手摺りに工具や資材などを配置するための装置を追加で設置すると、作業台の重量や表面積が増えたり、荷重が増えたりします。

23) 機械の安全性や安定性に影響を及ぼす可能性のある部品を改造または損傷しないでください。

24) 機械の安定性に影響を与える重要な部品は、重量や仕様が異なる部品と交換することはできません。

型番 項目	S0607 (S06070DQJH10)	S0607E (S06070DQJE10)
最大許容 傾き（前 傾）	3°	3°
最大許容 傾き（後 傾）	3°	3°
最大許容 傾き（側方 傾）	1.5°	1.5°

型番 項目	S0808 (S08080DQJH10)	S0808E (S08080DQJE10)
最大許容 傾き（前 傾）	3°	3°
最大許容 傾き（後 傾）	3°	3°
最大許容 傾き（側方 傾）	1.5°	1.5°
型番 項目	SS0407E (S407SDQJE10)	AS1012 (S10120DQJH10)
最大許容 傾き（前 傾）	3°	3°
最大許容 傾き（後 傾）	3°	3°
最大許容 傾き（側方 傾）	1.5°	1.5°
型番 項目	SS0607E (S607SDQJE10)	
最大許容 傾き（前 傾）	3°	

最大許容 傾き（後 傾）	3°	
最大許容 傾き（側方 傾）	1.5°	

元々搭載されていたバッテリーよりも軽いバッテリーは使用できません。バッテリーは、シャーシのカウンターウェイトとして作用するだけでなく、機械の安定性を維持するために重要な役割を果たします。バッテリーによって重量は異なります（詳細は下表を参照）。

型番	バッテリー重量 (Kg)
SS0407E	25.1
SS0607E	42.6
S0607	32
S0607E	
S0808	
S0808E	
AS1012	36

シャーシバッテリートレイ（バッテリーを含む）の最小重量は型番ごとに異なります（詳細は下表を参照）。

型番	シャーシバッテリー トレイ（バッテリーを 含む）の重量（kg）
SS0407E	78.4
SS0607E	113.4
S0607	165.8
S0607E	
S0808	192.4
S0808E	
AS1012	189

- 25) 作業台にはしごや足場を置いたり、機械の部品に寄りかかったりしないでください。
- 26) 作業台で運搬する場合は、物を均等に載せてください。作業台上にいる作業員が安全に移動できる工具と資材のみを運ぶことができます。
- 27) 移動または動作する表面や車両の上で機械を使用しないでください。
- 28) すべてのタイヤが良好な状態にあり、ナットが適切に締められていることを確認してください。

⚠ 下敷きの危険

- 切断されたり下敷きになる危険な場所に手や腕を入れないでください。
- コントローラーを使用して地上で機械

を操作する場合は、適切な判断を行い、計画的に操作してください。作業員、機械、固定された物体の間に距離を置いて安全を確保してください。

斜面での操作の危険

機械の傾斜および側面傾斜の定格を超える傾斜で機械を運転しないでください。傾斜定格は、機械を展開させた状態で考慮してください。

転落の危険

- 操作中、作業台上の作業員は全身に安全装置を着用し、指定されたロープ取り付け箇所に安全帯のフックで取り付けなければなりません。ロープ取り付け箇所1つにつき、1つのフックを取り付けることができます。
- 作業台の手摺りに登ったり座ったりしないでください。作業台の床には常にしっかりと立つようにしてください。
- 作業台が上がっているときは、作業台から降りないでください。

- 作業台の床に屑などがないようにしてください。
- 扉を閉めてから操作してください。
- 手摺りが正しく取り付けられていない場合、または扉が安全な操作を妨げる場合は、機械を操作しないでください。
- 機械が収縮状態にない限り、作業台に出入りしないでください。

衝突の危険

- 機械を始動または操作するときは、視界と死角の存有無に注意を払う必要があります。
- 機械を動かすときは、延長デッキの位置に注意してください。
- 頭上に障害物がないか、または危険な状況にないか、作業エリアを確認してください。
- 作業台の手摺りにつかまるときは、倒れる危険性に注意してください。
- 使用者は、個人用保護具の使用に関する雇用者、職場、政府の法令を遵守し

なければなりません。

- 走行および操舵機能を使用するときは、上部操作装置と作業台の銘板に表示されている方向矢印に従ってください。
- クレーンコントローラーがロックされているか、衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、クレーンや移動式高所作業機の経路上で機械を操作しないでください。
- 危険な運転や遊び感覚での操作は禁じられています。
- 作業台の下に人や障害物がない場合に限って、作業台を下げることができます。
- 地面の状態、混雑状況、傾斜、人の位置、衝突を引き起こす可能性のあるその他の要因に基づいて、移動速度を制限します。

部品損傷の危険

- バッテリーを充電するときは、24V 以上の充電器を使用しないでください。
- 溶接中は機械をアース線として使用し

ないでください。

爆発や引火の危険

可燃性または爆発性のガスや粒子が存在する可能性のある場所で、機械を使用または充電しないでください。

機械破損の危険

- 破損または故障している機械を使用することはできません。
- 次の手順に進む前に、機械の操作前点検を徹底的に実施し、すべての機能が正常か確認する必要があります。機械が破損または故障した場合は、速やかに機械を停止してマークを付してください。
- すべての保守作業を本説明書の規則に従って実施するようにしてください。
- すべてのラベルが適切な位置に付され、容易に識別できることを確認してください。
- 本説明書は、作業台の取扱説明書箱に保管するようにしてください。

 人的損傷の危険

- 作動油が漏れているときは、機械を操作しないでください。漏れた作動油で皮膚に悪影響が及んだり、火傷をしたりする可能性があります。
- カバーの下にある部品に誤って接触した場合、重傷を負うことになります。訓練を受けた保守担当者のみがコンパートメントを整備できます。推奨：保守は、各操作者が操作前点検中にのみ行います。操作中は、すべてのコンパートメントを閉じてロックしたままにしておく必要があります。

1.4 バッテリーの安全性

 燃焼の危険

- バッテリーには酸性物質が含まれています。バッテリーを取り扱うときは、保護服と保護メガネを着用してください。
- バッテリー内の酸性物質の流出を防ぎ、

流出した場合は接触しないようにしてください。バッテリーの酸性物質が流出した場合、ナトリウム化合物と水を使って中和してください。

 爆発の危険

- 火花、炎、火のついたタバコをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出する可能性があります。
- 火花が発生するおそれのある工具でバッテリーの端子や電線クランプを掴まないでください。
- 車両を長期間駐車する場合は、主電源スイッチを切る必要があります。

 部品損傷の危険

バッテリーを充電するときは、24V 以上の充電器を使用しないでください。

 感電や火傷の危険

- バッテリーの充電器は、接地された AC3 線式電源コンセントにのみ接続で

きます。

- ケーブル、電線、配線が損傷していないか、毎日点検してください。破損したものは、操作前に交換してください。
- バッテリーの端子に接触して感電しないようにしてください。指輪や時計などのアクセサリはすべて外してください。

⚠ 転倒の危険

元々搭載されていたバッテリーよりも軽いバッテリーは使用できません。バッテリーは、シャーシのカウンターウェイトとして作用するだけでなく、機械の安定性を維持するために重要な役割を果たします。バッテリーによって重量は異なります（詳細は下表を参照）。

型番	バッテリー重量 (Kg)
SS0407E	25.1
SS0607E	42.6
S0607	32
S0607E	
S0808	

S0808E	
AS1012	36

シャーシバッテリートレイ（バッテリーを含む）の最小重量は型番ごとに異なります（詳細は下表を参照）。

型番	シャーシバッテリートレイ（バッテリーを含む）の重量 (kg)
SS0407E	78.4
SS0607E	113.4
S0607	165.8
S0607E	
S0808	192.4
S0808E	
AS1012	189

⚠ 取り出し時の危険

バッテリーの取り出しは、適切な人数と取り出し方法によって行ってください。

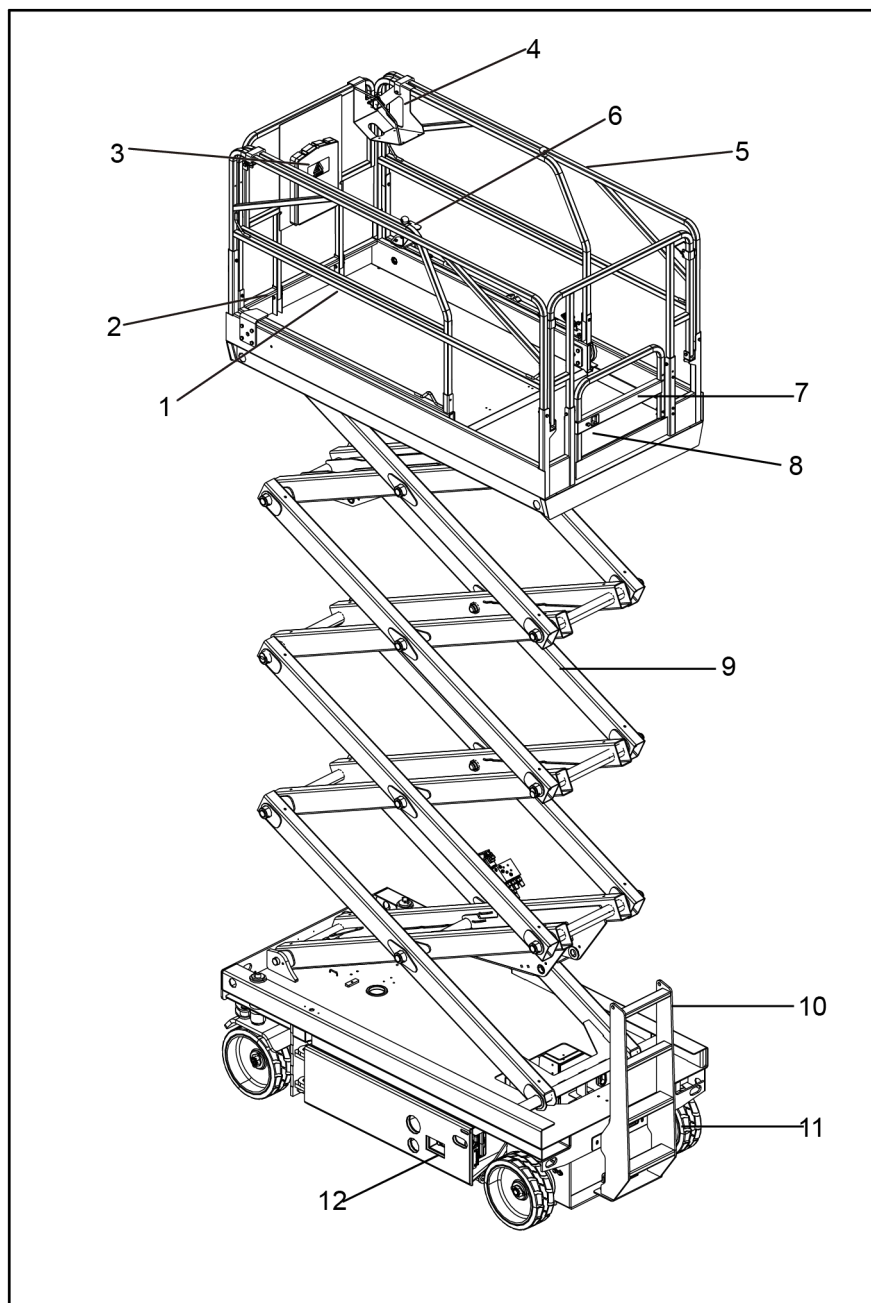
1.5 各使用後のロック

- 1) 機械を停止して静置する際は、安全な場所を選んでください。堅固で平らな地面で、障害物がない場所が好ましく、交通量が多い場所は避けてください。
- 2) 作業台を下げます。

- 3) 緊急停止ボタン（赤色）を押します。
- 4) キースイッチを「オフ」の位置に回して、無
許可での使用を避けるためにキーを取り外
しておきます。
- 5) くさびでタイヤを支える。
- 6) バッテリーを充電します。

第 2 章 図の説明

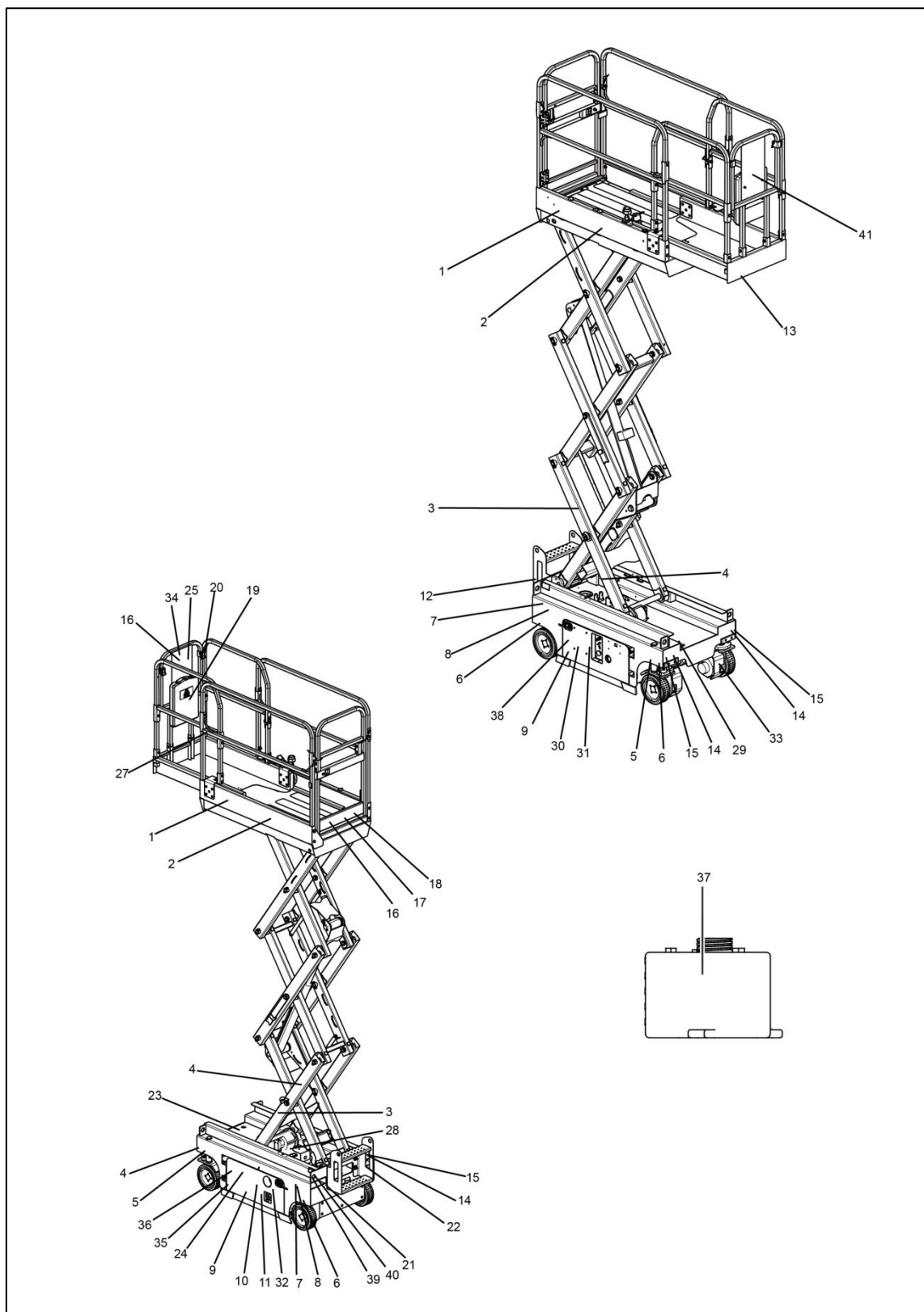
⚠ 注意：製品構造概略図は、S0808 を例にしていますが、他の機種についてはこの図を参照してください。



1. 左手摺り 2. 延長デッキ 3. 取扱説明書箱 4. 上部操作装置 5. 右手摺り 6. ペダル 7. 扉 8. 作業台 9. シザース
10. はしご 11. タイヤ 12. バッテリー側トレイ

第3章 ラベル

SS0407E/SS0607E ラベル

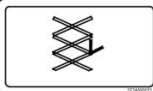
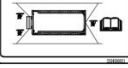
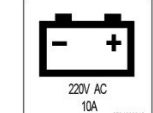
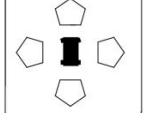
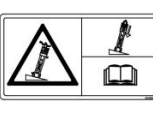
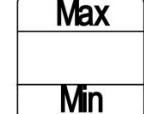


SS0407E/SS0607E ラベルの説明

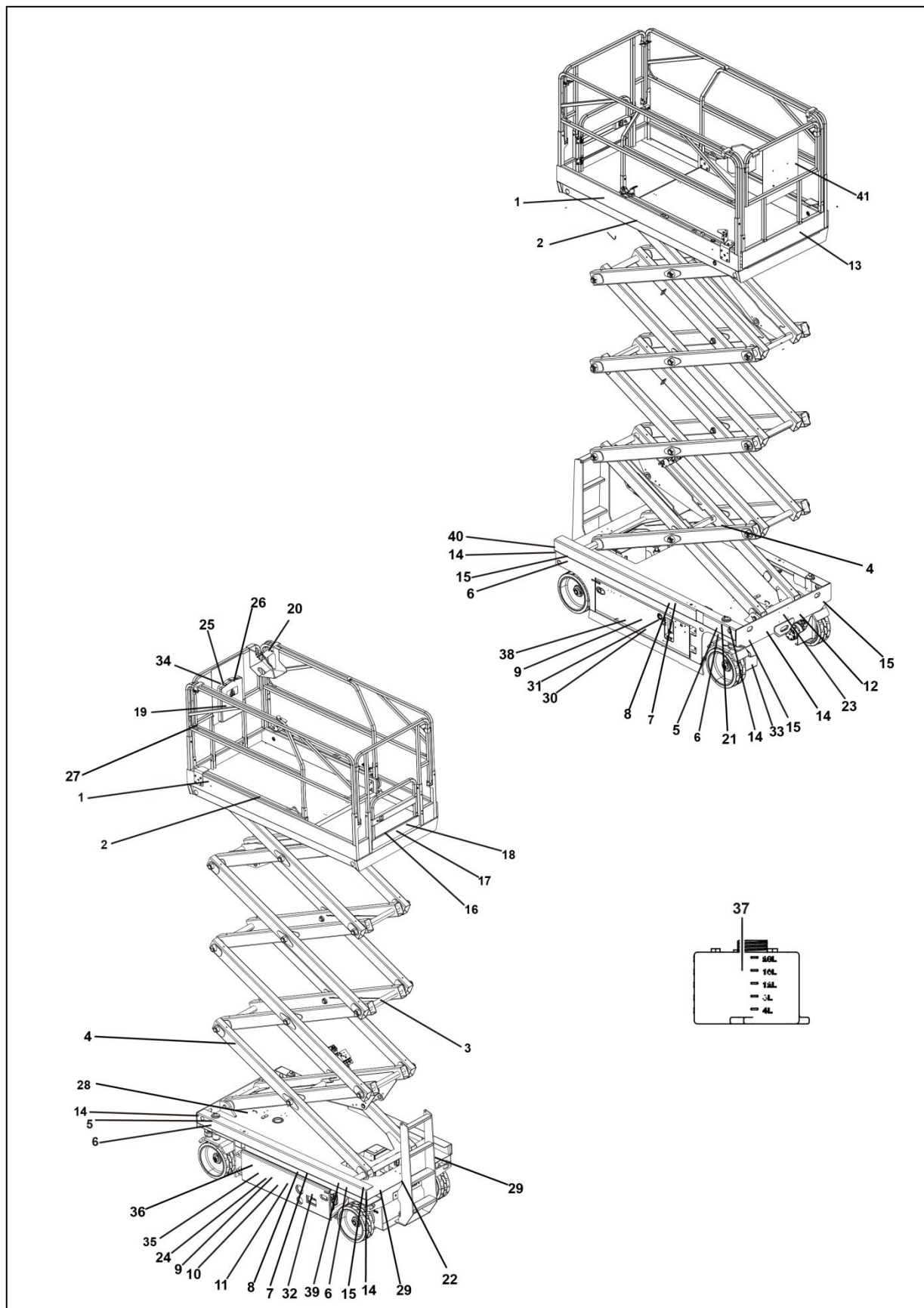
番号	名称	番号	名称
1	会社ロゴ	22	バッテリー充電ラベル
2	型番ラベル	23	機械銘板
3	シザース安全アームラベル	24	警告の説明
4	機械接近警告ラベル	25	方向矢印指示ラベル
5	前進方向ラベル	26	禁止ラベル
6	タイヤ荷重ラベル	27	ロープ取り付け箇所ラベル
7	感電危険ラベル	28	転倒危険ラベル
8	下敷き危険ラベル	29	シザース脚ラベル
9	シャーシトレイ展開警告ラベル	30	箱整備注意ラベル
10	爆発火傷警告ラベル	31	皮膚損傷注意ラベル
11	バッテリーカウンターウェイト 警告ラベル	32	電源オフラベル
12	輸送時取り付け箇所ラベル	33	噴霧禁止ラベル
13	警告ライン	34	作業台降下ラベル
14	シャックルラベル	35	危険の説明
15	吊り上げラベル	36	感電危険ラベル
16	最大手動カラベル	37	オイルレベルラベル
17	作業台安全警告ラベル	38	CE ラベル
18	最大手動カラベル	39	感電引火警告ラベル

19	取扱説明書確認ラベル	40	ブレーキ解除安全警告ラベル
20	ホットプラグ禁止ラベル	41	会社ロゴ
21	緊急降下レベル		

SS0407E/SS0607E ラベル

1-2534000335	2-2534000913/960	3-2534000355	4-2534001763	5-2534000102	6-2534002144/5
	SS0407E SS0607E				ホイール負荷 480kg  ホイール負荷 540kg 
7-2534000009	8-2534001764	9-2534000010	10-2534001772	11-2534000008	12-2534000304
					
13-2534000024	14-2831990027	15-2534000027	16-2534000134/148	17-2534002143/165	18-2534002132/1771
					最大手動力 400N (kg) 200N (kg)  最大手動力 400N (kg) 200N (kg) 
19-2534000119	20-2534000709	21-2534001769	22-254000018	23-2534001777	24-2534001766
					
25-2534000033	26-2534000229	27-2534000017	28-2534000015	29-2534000101	30-2534000011
					
31-2534000029	32-2534001770	33-2534000124	34-2534000013	35-2534001765	36-2534000247
					
37-2534000100	38-2534000276	39-2534000007	40-2534000016	41-2534000605	
					

S0607 ラベル

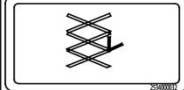
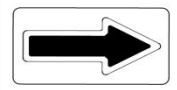
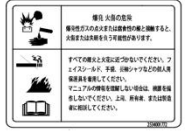
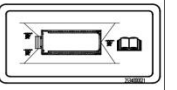
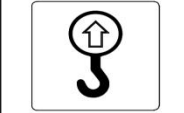
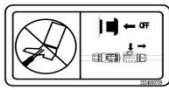
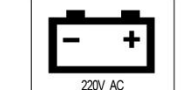
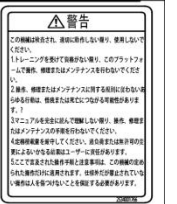
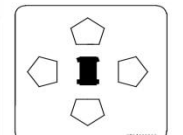
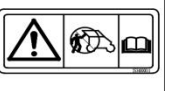
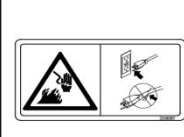
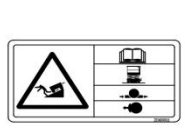


S0607 ラベルの説明

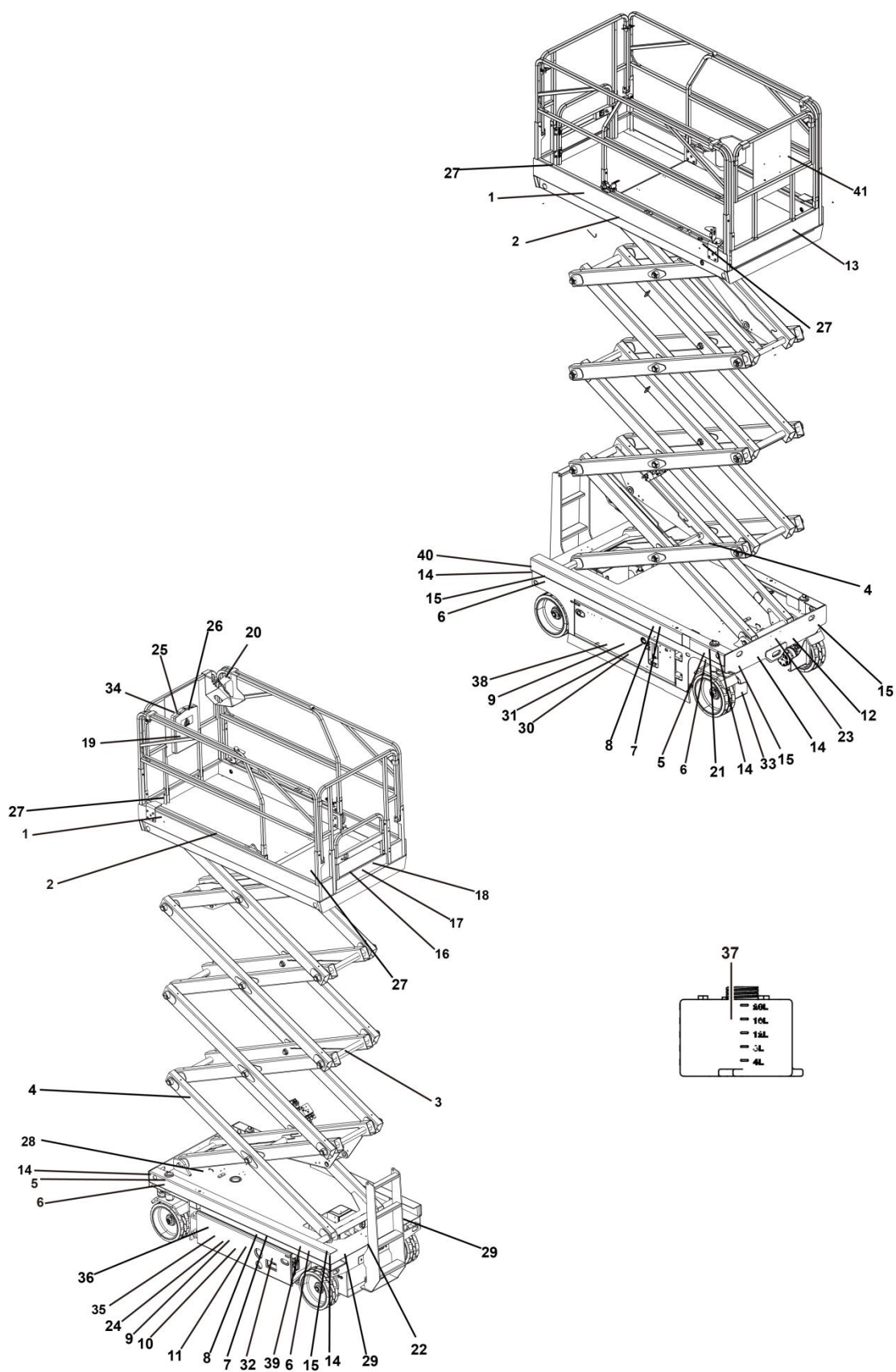
番号	名称	番号	名称
1	会社ロゴ	22	バッテリー充電ラベル
2	機種ラベル	23	機械銘板
3	シザース安全アームラベル	24	警告の説明
4	機械接近警告ラベル	25	方向矢印指示ラベル
5	前進方向ラベル	26	禁止ラベル
6	タイヤ荷重ラベル	27	ロープ取り付け箇所ラベル
7	感電危険ラベル	28	転倒危険ラベル
8	下敷き危険ラベル	29	シザース脚ラベル
9	シャーシトレイ開放警告ラベル	30	箱整備注意ラベル
10	爆発火傷警告ラベル	31	皮膚損傷注意ラベル
11	バッテリーカウンターウェイト 警告ラベル	32	電源オフラベル
12	輸送時取り付け箇所ラベル	33	噴霧禁止ラベル
13	警告ライン	34	作業台降下ラベル
14	シャックルラベル	35	危険の説明
15	吊り上げラベル	36	感電危険ラベル
16	最大手動カラベル	37	オイルレベルラベル
17	作業台安全警告ラベル	38	CE ラベル
18	最大手動カラベル	39	感電引火警告ラベル

19	取扱説明書確認ラベル	40	ブレーキ解除安全警告ラベル
20	ホットプラグ禁止ラベル	41	会社ロゴ
21	緊急降下レベル		

S0607 ラベル

1-2534000218	2-2534001267	3-2534000032	4-2534001763	5-2534000102	6-2534001768
					
7-2534000009	8-2534001764	9-2534000010	10-2534001772	11-2534000008	12-2534000021
					
13-2534000024	14-2831990027	15-2534000027	16-2534000148	17-2534000165	18-2534001771
					
19-2534000119	20-2534000709	21-2534001769	22-2540000018	23-2534001777	24-2534001766
					
25-2534000033	26-2534000229	27-2534000017	28-2534000015	29-2534000101	30-2534000011
					
31-2534000029	42-2534001770	33-2534000124	34-2534000013	35-2534001765	36-2534000247
					
37-2534000100	38-2534000276	39-2534000007	40-2534000016	41-2534000220	
					

S0607E ラベル

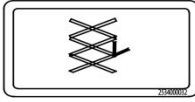
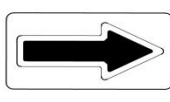
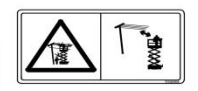
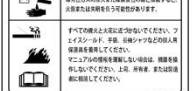
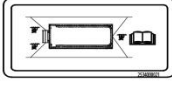
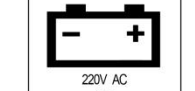
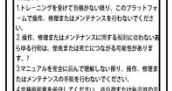
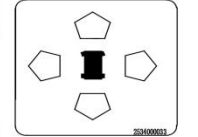
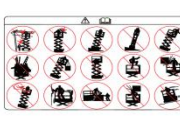
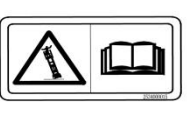
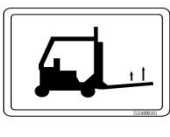
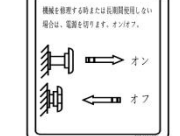
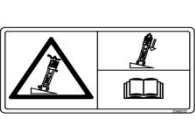
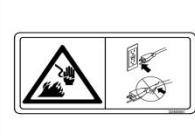


S0607E ラベルの説明

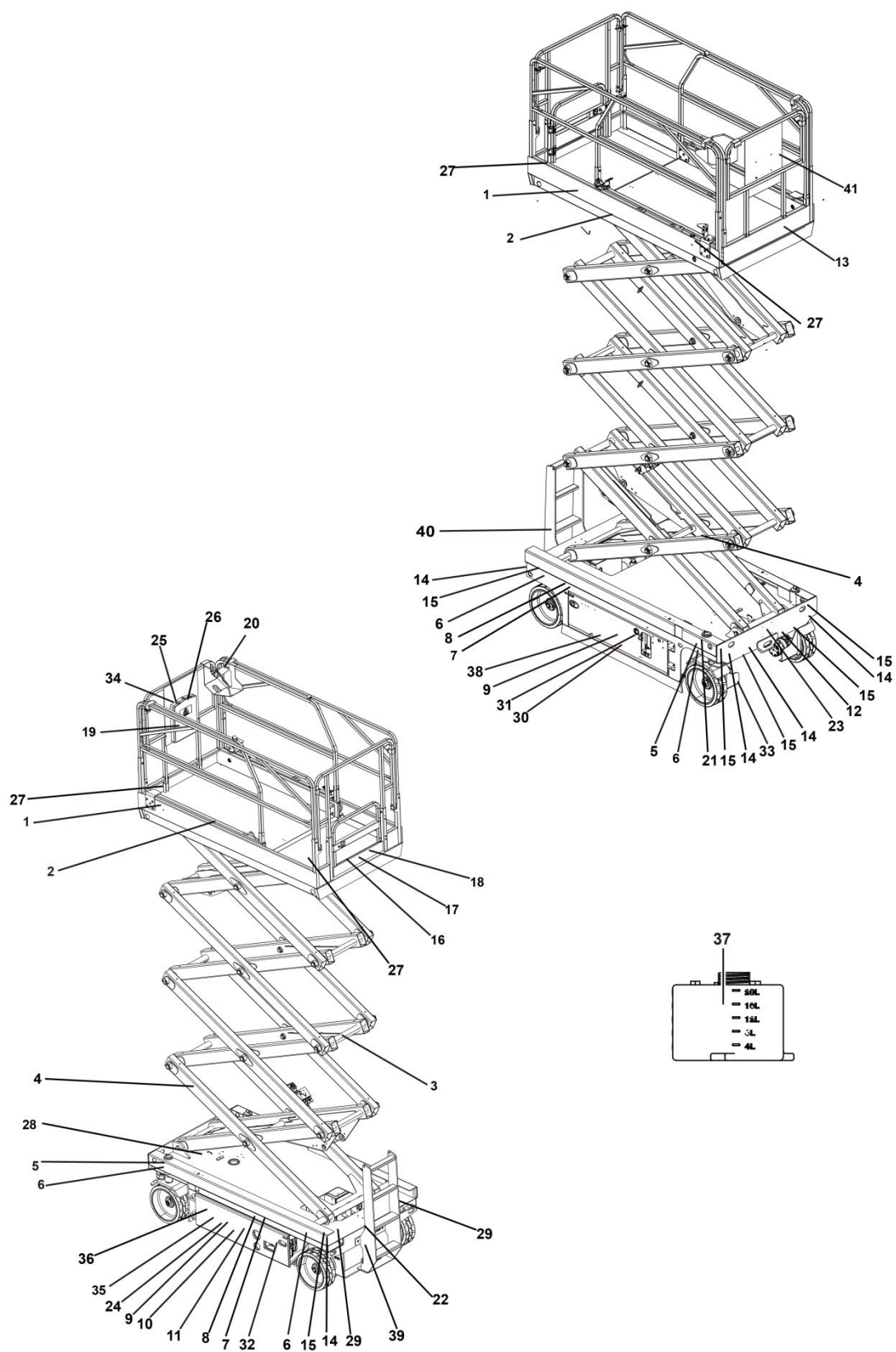
番号	名称	番号	名称
1	会社ロゴ	22	バッテリー充電ラベル
2	機種ラベル	23	機械銘板
3	シザース安全アームラベル	24	警告の説明
4	機械接近警告ラベル	25	方向矢印指示ラベル
5	前進方向ラベル	26	禁止ラベル
6	タイヤ荷重ラベル	27	ロープ取り付け箇所ラベル
7	感電危険ラベル	28	転倒危険ラベル
8	下敷き危険ラベル	29	シザース脚ラベル
9	シャーシトレイ開放警告ラベル	30	箱整備注意ラベル
10	爆発火傷警告ラベル	31	皮膚損傷注意ラベル
11	バッテリーカウンターウェイト 警告ラベル	32	電源オフラベル
12	輸送時取り付け箇所ラベル	33	噴霧禁止ラベル
13	警告ライン	34	作業台降下ラベル
14	シャックルラベル	35	危険の説明
15	吊り上げラベル	36	感電危険ラベル
16	最大手動カラベル	37	オイルレベルラベル
17	作業台安全警告ラベル	38	CE ラベル
18	最大手動カラベル	39	感電引火警告ラベル

19	取扱説明書確認ラベル	40	ブレーキ解除安全警告ラベル
20	ホットプラグ禁止ラベル	41	会社ロゴ
21	緊急降下レベル		

S0607E ラベル

1-2534000218	2-2534000883	3-2534000032	4-2534001763	5-2534000102	6-2534001768
					
7-2534000009	8-2534001764	9-2534000010	10-2534001772	11-2534000008	12-2534000021
					
13-2534000024	14-2831990027	15-2534000027	16-2534000148	17-2534000165	18-2534001771
					
19-2534000119	20-2534000709	21-2534001769	22-254000018	23-2534001610	24-2534001766
					
25-2534000033	26-2534000229	27-2534000017	28-2534000015	29-2534000101	30-2534000011
					
31-2534000029	32-2534001770	33-2534000124	34-2534000013	35-2534001765	36-2534000247
					
37-2534000100	38-2534000276	39-2534000007	40-2534000016	41-2534000220	
					

S0808E ラベル

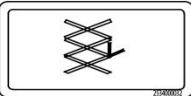
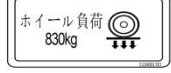
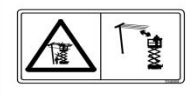
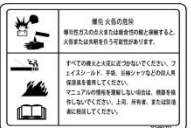
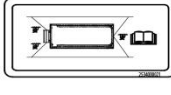
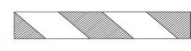
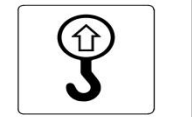
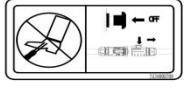
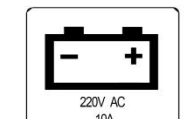
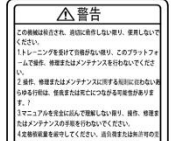
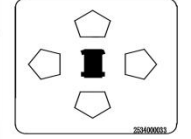
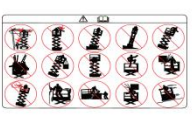
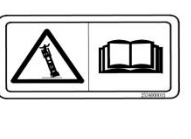
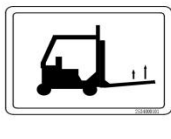
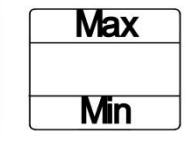
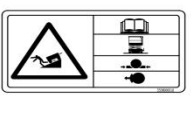


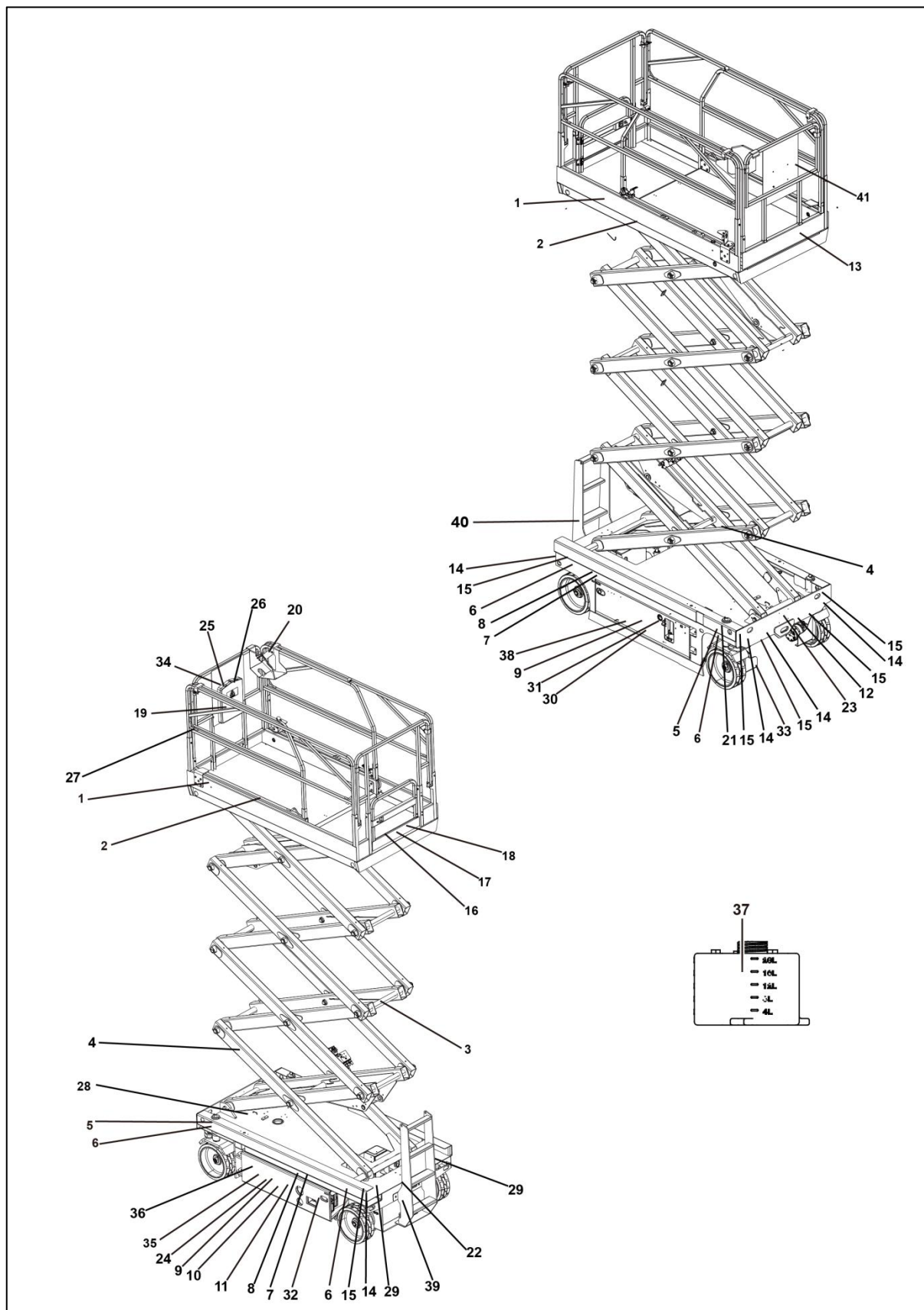
S0808E ラベルの説明

番号	名称	番号	名称
1	会社ロゴ	22	バッテリー充電ラベル
2	機種ラベル	23	機械銘板
3	シザース安全アームラベル	24	警告の説明
4	機械接近警告ラベル	25	方向矢印指示ラベル
5	前進方向ラベル	26	禁止ラベル
6	タイヤ荷重ラベル	27	ロープ取り付け箇所ラベル
7	感電危険ラベル	28	転倒危険ラベル
8	下敷き危険ラベル	29	シザース脚ラベル
9	シャーシトレイ開放警告ラベル	30	箱整備注意ラベル
10	爆発火傷警告ラベル	31	皮膚損傷注意ラベル
11	バッテリーカウンターウェイト 警告ラベル	32	IPAF ラベル
12	輸送時取り付け箇所ラベル	33	噴霧禁止ラベル
13	警告ライン	34	作業台降下ラベル
14	シャックルラベル	35	危険の説明
15	吊り上げラベル	36	感電危険ラベル
16	最大手動カラベル	37	オイルレベルラベル
17	作業台安全警告ラベル	38	CE ラベル
18	最大手動カラベル	39	感電引火警告ラベル

19	取扱説明書確認ラベル	40	ブレーキ解除安全警告ラベル
20	ホットプラグ禁止ラベル	41	会社ロゴ
21	緊急降下レベル	42	電源オフラベル

S0808E ラベル

1-2534000219	2-2534000916	3-2534000032	4-2534001763	5-2534000102	6-2534001767
					
7-2534000009	8-2534001764	9-2534000010	10-2534001772	11-2534000008	12-2534000021
					
13-2534000024	14-2831990027	15-2534000027	16-2534000148	17-2534000165	18-2534001771
					
19-2534000119	20-2534000709	21-2534001769	22-254000018	23-2534001610	24-2534001766
					
25-2534000033	26-2534000229	27-2534000017	28-2534000015	29-2534000101	30-2534000011
					
31-2534000029	32-2534001770	33-2534000124	34-2534000013	35-2534001765	36-2534000247
					
37-2534000100	38-2534000276	39-2534000007	40-2534000016	41-2534000220	
					

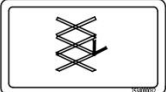
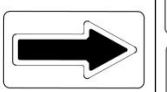
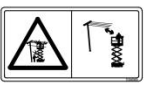
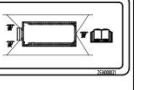
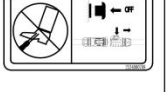
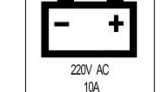
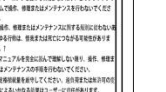
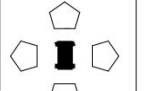
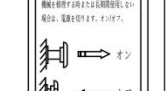
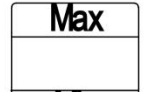


S0808/AS1012 ラベルの説明

番号	名称	番号	名称
1	会社ロゴ	22	バッテリー充電ラベル
2	機種ラベル	23	機械銘板
3	シザース安全アームラベル	24	警告の説明
4	機械接近警告ラベル	25	方向矢印指示ラベル
5	前進方向ラベル	26	禁止ラベル
6	タイヤ荷重ラベル	27	ロープ取り付け箇所ラベル
7	感電危険ラベル	28	転倒危険ラベル
8	下敷き危険ラベル	29	シザース脚ラベル
9	シャーシトレイ開放警告ラベル	30	箱整備注意ラベル
10	爆発火傷警告ラベル	31	皮膚損傷注意ラベル
11	バッテリーカウンターウェイト 警告ラベル	32	電源オフラベル
12	輸送時取り付け箇所ラベル	33	噴霧禁止ラベル
13	警告ライン	34	作業台降下ラベル
14	シャックルラベル	35	危険の説明
15	吊り上げラベル	36	感電危険ラベル
16	最大手動カラベル	37	オイルレベルラベル
17	作業台安全警告ラベル	38	CE ラベル
18	最大手動カラベル	39	感電引火警告ラベル
19	取扱説明書確認ラベル	40	ブレーキ解除安全警告ラベル

20	ホットプラグ禁止ラベル	41	会社ロゴ
21	緊急降下レベル		

S0808/AS1012 ラベル

1-2534000218/9	2-2534001277/0796	3-2534000032	4-2534001763	5-2534000102	6-2534001767/2134
	S0808 AS1012				ホイール荷重 830kg  ホイール荷重 1190kg 
7-2534000009	8-2534001764	9-2534000010	10-2534001772	11-2534000008	12-2534000021/304
					
13-2534000024	14-2831990027	15-2534000027	16-2534000148/134	17-2534000165/283	18-2534001771/2132
					最大手動力 400N (約 10kg)  最大手動力 400N (約 10kg) 200N (約 5kg) 
19-2534000119	20-2534000709	21-2534001769	22-254000018	23-2534001777	24-2534001766
					
25-2534000707/033	26-2534000229	27-2534000017	28-2534000015	29-2534000101	30-2534000011
					
31-2534000029	32-2534001770	33-2534000124	34-2534000013	35-2534001765	36-2534000247
					
37-2534000100	38-2534000276	39-2534000007	40-2534000016	41-2534000220	
					

第 4 章 仕様

型番	SS0407E		最大タイヤ荷重	480Kg
項目	パラメーター		タイヤ接地圧	1116.71KPa
最大許容作業人数	2		車体占有面の平均圧力	10.76Kpa
最大作業高さ (m)	5.6			
最大作業台高さ (m)	3.6			
延長デッキ長さ (m)	0.6			
走行速度 (格納状態) (km/時)	3.2±0.2			
走行速度 (上昇状態) (km/時)	0			
制動距離 (無荷重格納状態) (mm)	400±100			
上昇/降下速度 (秒)	25±2/20±3			
最小回転半径 (m)	1.50			
最大登板能力	25%			
全長 (m) (はしごあり/なし)	1.53/1.35			
全幅 (m)	0.76			
最大手動力	屋内 (N)	400		
	屋外 (N)	200		
タイヤサイズ (直径×幅) (mm)	230×80			
作業台サイズ (長さ×幅) (m)	1.35×0.7			
ホイールベース (mm)	680			
軸距 (前/後) (mm)	1120			
地上クリアランス (収縮/展開) (mm)	50/16			
全高 (手摺り付き/折り畳み) (m)	2.08/1.66			
整備質量 (kg)	885			
上昇モーター	定格電力 (KW)	1.6		
駆動モーター	定格電力 (KW)	0.5		
バッテリー	出力電圧 (V)	12		
	容量 (min)	25A/145、75A/34		
充電器	公称 AC 入力電圧	100-240VAC		
	最大 DC 出力電流 (A)	30		
	公称 DC 出力電圧 (V)	24		
地上作業場での音圧レベル	<70dBA			
作業台での音圧レベル	<70dBA			
型式	開放システム			
主ポンプ	ギヤポンプ			
最大油圧力 (機能) (MPa)	15			
作動油量	4.5L			
減速機潤滑油 (SAE 80W/90)	0.25L			
地面荷重情報				

型番	SS0607E	
項目	パラメーター	
最大許容作業人数	2	
最大作業高さ (m)	7.5	
最大作業台高さ (m)	5.5	
延長デッキ長さ (m)	0.6	
走行速度 (格納状態) (km/時)	3.5±0.2	
走行速度 (上昇状態) (km/時)	0	
制動距離 (無荷重格納状態) (mm)	≤600	
上昇/降下速度 (秒)	32±2/27±2	
最小回転半径 (m)	1.50	
最大登板能力	25%	
全長 (m) (はしごあり/なし)	1.54/1.35	
全幅 (m)	0.81	
最大手動力	屋内 (N)	400
	屋外 (N)	0
タイヤサイズ (直径×幅) (mm)	230×80	
作業台サイズ (長さ×幅) (m)	1.35×0.7	
ホイールベース (mm)	730	
軸距 (前/後) (mm)	1120	
地上クリアランス (収縮/展開) (mm)	50/16	
全高 (手摺り付き/折り畳み) (m)	2.275/1.86	
整備質量 (kg)	1335	
上昇モーター	定格電力 (KW)	2.2
駆動モーター	定格電力 (KW)	0.6
バッテリー	出力電圧 (V)	12
	容量 (min)	25A/295、75A/80
充電器	公称 AC 入力電圧	100-240VAC
	最大 DC 出力電流 (A)	30
	公称 DC 出力電圧 (V)	24
地上作業場での音圧レベル	<70dBA	
作業台での音圧レベル	<70dBA	

型式	開放システム
主ポンプ	ギヤポンプ
最大油圧力（機能）（MPa）	15
作動油量	4.5L
減速機潤滑油（SAE 80W/90）	0.25L
地面荷重情報	
最大タイヤ荷重	540Kg
タイヤ接地圧	1406.17KPa
車体占有面の平均圧力	14.13Kpa

型番	S0607
項目	パラメーター
最大許容作業人数	2
最大作業高さ（m）	7.8
最大作業台高さ（m）	5.8
延長デッキ長さ（m）	0.9
走行速度（格納状態）（km/時）	3.2±0.2
走行速度（上昇状態）（km/時）	0
制動距離（無荷重格納状態）（mm）	500±100
上昇/降下速度（秒）	16±2/28±3
最小回転半径（m）	1.70
最大登板能力	25%
全長（m）（はしごあり/なし）	1.86/1.679
全幅（m）	0.76
最大手動力	屋内（N） 400 屋外（N） 0
タイヤサイズ（直径×幅）（mm）	323×100
作業台サイズ（長さ×幅）（m）	1.645×0.73
ホイールベース（mm）	663
軸距（前/後）（mm）	1350
地上クリアランス（収縮/展開）（mm）	58/19
全高（手摺り付き/折り畳み）（m）	2.16/1.96
整備質量（kg）	1530
上昇モーター	定格電力（KW） 3.3
バッテリー	出力電圧（V） 6 容量（min） 34A/300～ 71.2A/120
充電器	公称 AC 入力電圧 100-240VAC

	最大 DC 出力電流 (A)	30
	公称 DC 出力電圧 (V)	24
地上作業場での音圧レベル		<70dBA
作業台での音圧レベル		<70dBA
型式		開放システム
主ポンプ		ギヤポンプ
最大油圧力（機能）(MPa)		24
作動油量		9.5L
地面荷重情報		
最大タイヤ荷重		600Kg
タイヤ接地圧		1074.83KPa
車体占有面の平均圧力		13.81Kpa

型番	S0607E
項目	パラメーター
最大許容作業人数	2
最大作業高さ（m）	7.8
最大作業台高さ（m）	5.8
延長デッキ長さ（m）	0.9
走行速度（格納状態）（km/時）	3.5±0.2
走行速度（上昇状態）（km/時）	0
制動距離（無荷重格納状態）（mm）	500±100
上昇/降下速度（秒）	16±2/28±3
最小回転半径（m）	1.70
最大登板能力	25%
全長（m）（はしごあり/なし）	1.86/1.679
全幅（m）	0.76
最大手動力	屋内（N） 400 屋外（N） 0
タイヤサイズ（直径×幅）（mm）	323×100
作業台サイズ（長さ×幅）（m）	1.645×0.73
ホイールベース（mm）	663
軸距（前/後）（mm）	1350
地上クリアランス（収縮/展開）（mm）	58/19
全高（手摺り付き/折り畳み）（m）	2.16/1.96
整備質量（kg）	1530
上昇モーター	定格電力（KW） 3.3
駆動モーター	定格電力（KW） 0.81

バッテリー	出力電圧 (V)	6	地上クリアランス (収縮/展開) (mm)	100/25	
	容量 (min)	34A/300～ 71.2A/120		全高 (手摺り付き/折り畳み) (m)	
充電器	公称 AC 入力電圧	100-240VAC	整備質量 (kg)		2,192
	最大 DC 出力電流 (A)	30	上昇モーター	定格電力 (KW)	3.3
	公称 DC 出力電圧 (V)	24			
地上作業場での音圧レベル		<70dBA	バッテリー	出力電圧 (V)	6
作業台での音圧レベル		<70dBA		容量(min)	34A/300～ 71.2A/120
型式		開放システム	充電器	公称 AC 入力電圧	100-240VAC
主ポンプ		ギヤポンプ		最大 DC 出力電流 (A)	30
最大油圧力 (機能) (MPa)		21		公称 DC 出力電圧 (V)	24
作動油量		9.5L	地上作業場での音圧レベル		<70dBA
減速機潤滑油		0.3L±0.03	作業台での音圧レベル		<70dBA
地面荷重情報			型式		開放システム
最大タイヤ荷重	600Kg		主ポンプ		ギヤポンプ
タイヤ接地圧	1074.83KPa		最大油圧力 (機能) (MPa)		24
車体占有面の平均圧力	13.81Kpa		作動油量		13L

型番		S0808
項目		パラメーター
最大許容作業人数		2
最大作業高さ (m)		10
最大作業台高さ (m)		8
延長デッキ長さ (m)		0.9
走行速度 (格納状態) (km/時)		3±0.2
走行速度 (上昇状態) (km/時)		0
制動距離 (無荷重格納状態) (mm)		500±100
上昇/降下速度 (秒)		31±3/40±3
最小回転半径 (m)		2.20
最大登板能力		25%
全長 (m) (はしごあり/なし)		2.42/2.27
全幅 (m)		0.83
最大手動力	屋内 (N)	400
	屋外 (N)	0
タイヤサイズ (直径×幅)		380×130
作業台サイズ (長さ×幅) (m)		2.26×0.81
ホイールベース (mm)		700
軸距 (前/後) (mm)		1,850

最大タイヤ荷重	830kg
タイヤ接地圧	840.71 KPa
車体占有面の平均圧力	12.61Kpa

型番		S0808E
項目		パラメーター
最大許容作業人数		2
最大作業高さ (m)		10
最大作業台高さ (m)		8
延長デッキ長さ (m)		0.9
走行速度 (格納状態) (km/時)		3±0.2
走行速度 (上昇状態) (km/時)		0
制動距離 (無荷重格納状態) (mm)		500±100
上昇/降下速度 (秒)		31±3/40±3
最小回転半径 (m)		2.20
最大登板能力		25%
全長 (m) (はしごあり/なし)		2.42/2.27
全幅 (m)		0.83
最大手動力	屋内 (N)	400
	屋外 (N)	0

タイヤサイズ（直径×幅）（mm）	380×130	上昇/降下速度（秒）	58±4/48±4
作業台サイズ（長さ×幅）（m）	2.26×0.81	最小回転半径（m）	2.30
ホイールベース（mm）	700	最大登板能力	25%
軸距（前/後）（mm）	1,850	全長（m）（はしごあり/なし）	2.47/2.25
地上クリアランス（収縮/展開）（mm）	100/25	全幅（m）	1.18
全高（手摺り付き/折り畳み）（m）	2.37/1.9	最大手動力	屋内（N） 屋外（N）
整備質量（kg）	2,192		400 200
上昇モーター	定格電力（/KW）	3.3	タイヤサイズ（直径×幅）（mm）
駆動モーター	定格電力（/KW）	0.81	380×130
バッテリー	出力電圧（V）	6	作業台サイズ（長さ×幅）（m）
	容量(min)	34A/300～ 71.2A/120	2.26×1.12
充電器	公称 AC 入力電圧	100-240VAC	ホイールベース（mm）
	最大 DC 出力電流（A）	30	1050
	公称 DC 出力電圧（V）	24	軸距（前/後）（mm）
地上作業場での音圧レベル	<70dBA		1,850
作業台での音圧レベル	<70dBA		地上クリアランス（収縮/展開）（mm）
型式	開放システム		100/20
主ポンプ	ギヤポンプ		全高（手摺り付き/折り畳み）（m）
最大油圧力（機能）（MPa）	24		2.46/1.88
作動油量	13L		整備質量（kg）
減速機潤滑油	0.3L±0.03		3000
地面荷重情報			上昇モーター
最大タイヤ荷重	830kg		定格電力（/KW）
タイヤ接地圧	840.71 KPa		4.5
車体占有面の平均圧力	12.66Kpa		バッテリー
			出力電圧（V）
			6
			容量（min）
			38.4A/300～77.8A/120
			充電器
			公称 AC 入力電圧
			100-240VAC
			最大 DC 出力電流（A）
			30
			公称 DC 出力電圧（V）
			24
			地上作業場での音圧レベル
			<70dBA
			作業台での音圧レベル
			<70dBA
			型式
			開放システム
			主ポンプ
			ギヤポンプ
			最大油圧力（機能）（MPa）
			25
			作動油量
			23L
			地面荷重情報
			最大タイヤ荷重
			1,190kg
			タイヤ接地圧
			1,238.78 KPa
			車体占有面の平均圧力
			11.08Kpa

型番	AS1012
項目	パラメーター
最大許容作業人数	2
最大作業高さ（m）	12
最大作業台高さ（m）	10
延長デッキ長さ（m）	0.9
走行速度（格納状態）（km/時）	3±0.3
走行速度（上昇状態）（km/時）	0
制動距離（無荷重格納状態）（mm）	500±100

 注意：作動油を充填するときは、使用

環境、温度に応じて適切な作動油を使用し

てください（下記参照）。

- L-HM 46#耐摩耗作動油 最低温度 > -9°C
- L-HV 46#耐摩耗作動油 -33°C < 最低温度 ≤ -9°C
- L-HS 46#超低温作動油 -39°C < 最低温度 ≤ -33°C
- No.10 航空作動油 最低温度 ≤ -39°C
- SS0407E/SS0607E 製品の場合、上昇、回転、歩行の後、燃料タンクの液面レベルが 4L の状態で保管します。
- S0607/S0607E 製品の場合、上昇、回転、歩行の後、燃料タンクのレベルが 6L の状態で保管します。
- S0808/S0808E 製品の場合、上昇、回転、歩行の後、燃料タンクのレベルで 9.5L の状態で保管します。
- AS1012 の場合、上昇、回転、歩行の後、燃料タンクのレベルは収納状態で 14L になります。



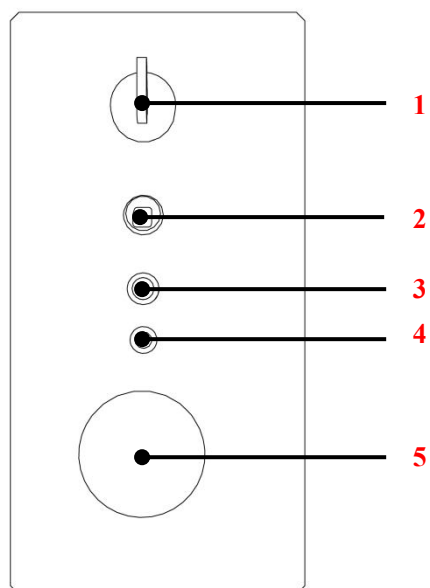
注意：

- 地面荷重情報は概算情報であり、ほかにも各種設置要因が想定されます。この情報は、十分な安全係数を確保でき

る場合にのみ使用できます。

- 本説明書に記載されている情報、技術パラメーター、図面などは、いずれも本説明書が発行された時点での最新かつ有効な情報です。技術改良、製品の更新、法的要件や規制要件の追加などにより、臨工集団済南重機有限公司は、事前に通知することなく、技術パラメーターと関連情報を更新する権利を有します。本説明書の技術パラメーターや情報がお客様がご使用の機械の状態と一致しない場合は、臨工集団済南重機有限公司のサービス部門 L に連絡して、最新情報を入手してください。
- 機械の重量は、各種設置状態によって異なります。

第 5 章 コントローラー



1. キースイッチ
2. 作業台昇降スイッチ
3. 自動リセットヒューズ (7A)
4. 過荷重表示灯
5. 緊急停止ボタン (赤色)

5.1 地上操作装置

5.1.1 キースイッチ

キースイッチは、機械全体の電源のオンとオフを制御します。3つの動作モードがあります。キースイッチが左位置にあるときは作業台操作モード、キースイッチが右位置にあるときはシャーシ操作モード、キースイッチが中間位置にあるときは電源オフモードです。

 **注意**：キースイッチが中間位置にある場合のみ、キースイッチの抜き差しが可能です（3つの位置すべてでの抜き差しが可能なキースイッチをオプションで装備できる製品もあります）。

5.1.2 緊急停止ボタン

緊急停止ボタンを押すと電源が切れます。

 **注**：緊急停止ボタンは、シャーシコントローラーと上部操作装置に装備され、一列に並んでいます。機械を非常停止するには、両方の緊急停止ボタンが引き出されている状態にしておいてください。シャーシコントローラーと上部操作装置のいずれか

1つの緊急停止ボタンを押すと、電源がオフになります。安全機能は統合された回路上に構築されており、いずれか1つの緊急停止ボタンを押すと回路が切断されます。

5.1.3 作業台昇降スイッチ

作業台は、作業台昇降スイッチを介してのみ上下させることができます。

1. ホーンスイッチ 2. 昇降側スイッチ 3. ディスプレイ
4. 緊急停止ボタン（赤色） 5. 操作レバー
6. 低速モードスイッチ 7. 走行側スイッチ
8. 操舵スイッチ 9. イネーブルスイッチ

5.2 上部操作装置

5.2.1 ホーンスイッチ

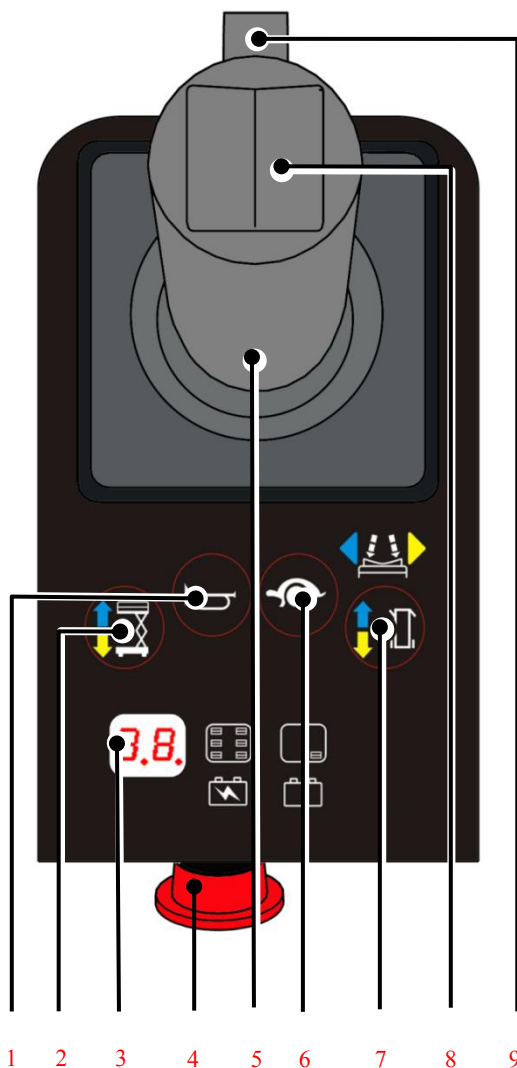
このボタンを押すと警音が鳴ります。ホーンスイッチを放すと、警音が停止します。

5.2.2 昇降側スイッチ

このボタンを押すと、上昇機能が有効になります。

5.2.3 ディスプレイ

診断データ表示画面とバッテリー充電ライト。



操作手順	表示データ
電源を入れたが動かない	バッテリー残量
前後方向に走行する	バッテリー残量
作業台を上げる	バッテリー残量
作業台を下ろす	バッテリー残量

エラーの発生	エラーコード
地上制御モード	C H

5.2.4 緊急停止ボタン

操作について詳しくは、「5.1.2」を参照してください。

5.2.5 操作レバー

上昇機能：

イネーブルスイッチを押しながらペダルスイッチを押す。青色矢印の指す方向に操作レバーを動かすと作業台が上がり、黄色矢印の指す方向に操作レバーを動かすと作業台が下がります。



注意：作業台が下がっているときは降下アラームが鳴ります。

運転機能：

イネーブルスイッチを押しながらペダルスイッチを押す。青色矢印の指す方向に操作ハンドルを動かすと、青色矢印の指す方向に移動（前進）します。黄色矢印の指す方向に操作ハンドルを動かすと、黄色矢印の指す方向に移動（後退）します。

5.2.6 低速モードスイッチ

このスイッチを押すと、低速または高速運転機能が有効になります。

5.2.7 走行側スイッチ

このスイッチを押すと、運転機能が有効になります。

5.2.8 操舵スイッチ

走行側スイッチを押し、操作レバーのイネーブルスイッチを押します。操舵スイッチで機械の操舵を制御します。

5.2.9 イネーブルスイッチ

走行、操舵、上昇、降下の機能を操作するには、操作レバーのイネーブルスイッチを押す必要があります。

5.2.10 ペダルスイッチ

上部操作装置を制御する際は、まずペダルスイッチを押す必要があります。

第 6 章 操作前点検

警告：下記の場合を除いて機械を操作

することはできません。

本説明書に記載されている機械を安全に操作するための規則を理解し、実施している。

- 危険な状況を避ける。
- 操作前点検を必ず実施する。
- 作業エリアを点検する。
- 使用前の機能試験を必ず実施する。
- 機械の設計の範囲内で使用する。

6.1 基本原則

- 1) 操作者は、責任をもって操作前点検と定期保守を実施するものとします。
- 2) 操作前点検は非常に直感的な検査プロセスであり、操作者は、交代するたびに各操作の前に実施します。点検の目的は、操作者が機能試験を行う前に、機械に問題がなく安全かどうかを調べることです。
- 3) 操作前点検ではまた、定期保守の必要性についても判断できます。操作者は、本説明書で指定されている日常的な保守項目のみを実

施できます。

- 4) 次ページのチェックリストを参照して、各項目にチェックを入れながら点検を行ってください。
- 5) 破損があったことや現場の状態から不正な改造が行われたことが発覚した場合は、機械の使用を停止し、マークを付します
- 6) 有資格の保守技術者のみが、製造元の規定に従って機械を保守することができます。保守後、操作者は機能試験を続行する前に、改めて操作前点検を実施する必要があります。

6.2 操作前点検

- 1) 本説明書が、読みやすく完全な状態であり、作業台の取扱い説明書

- 箱内に保管してあることを確認してください。
- 2) ラベルがすべて明確で読みやすく、適切に配置されていることを確認してください（ラベルのセクションを参照）。
- 3) 作動油が漏れていないか、油液面レベルが適正かを確認してください（「ラベル」セクションを参照してください）。
- 4) バッテリー液が漏れていないか確認し、液面レベルが適正であるか確認し、必要に応じて蒸留水を追加します。
- 5) 下記の部品や部分に損傷がないか、不適切な取り付けがされていないか、部品の欠落や不正な変更がないかを確認してください。
- a) 電気部品、配線、ケーブル
- b) 油圧ホース、ジョイント、油圧シリンダー、油圧バルブ群
- c) バッテリーパックとその接続
- d) 駆動モーター
- e) 耐摩耗性のスライダーとガスケット
- f) タイヤとホイール
- g) 静電気防止テープ
- h) リミットスイッチ、アラーム、警音器
- i) ナット、ボルトなどの留め具
- j) 作業台過荷重部品
- k) 扉
- l) インジケーターとアラーム
- m) 安全アーム
- n) 延長デッキ
- o) シザースアームのピンと留め具
- p) 作業台操作レバー
- q) ブレーキ解除部品
- r) ポットホールガード
- 6) 機械全体を点検して下記の項目をチェックします：
- a) 溶接部または構造部品の亀裂。
- b) 機械のへこみや破損。
- c) すべての構造部品とその他の主要部品が完備されていること、関連するすべての留め具とピンが正しい位置にあり、適切に締め付けられていること。
- d) 手摺りが組み立てられ、手摺りボルトが所定の位置にあり、ボルトが適切に締め付けられていること。

e) シャーシバッテリートレイと油ポンプ

トレイが閉じてロックされていること、

バッテリーが正しく接続されているこ

と。



注意 :機械を点検するために作業台を

上げなければならない場合は、安全アーム

が正しい位置にあることを確認してくださ

い（「操作説明」を参照してください）。

第 7 章 作業エリアの点検



警告：下記の場合を除いて機械を操作

するようにします。

することはできません。

本説明書に記載されている機械を安全に操作するための規則を理解し、実施している。

- 1) 危険な状況を避ける。
- 2) 操作前点検を必ず実施する。



注意：次のステップに進む前に、作業

エリアの点検方法について理解しておく必要があります。

- 3) 作業エリアを点検する。
- 4) 使用前の機能試験を必ず実施する。
- 5) 機械設計の適用範囲内でのみ使用する。

7.1 基本原則

- 1) 作業エリアを点検すると、操作者は、そこで機械を操作しても安全かどうかを判断しやすくなります。操作者は、作業エリアに入る前に、この作業を行っておく必要があります。
- 2) 操作者は、責任をもって作業エリアの危険を理解し、注意を払います。機械の移動、設置、操作の際には、これらの危険を見つけて回避

7.2 作業エリアの点検

回避すべき危険な状況を以下に示します。

- 1) 急勾配や穴
- 2) 突起物、地上の障害物、屑
- 3) 斜面
- 4) 堅固でなく、滑る地面
- 5) 空中障害物、高圧電線
- 6) 危険な場所
- 7) 機械によって加えられる総荷重力に耐えることができない地面や土台
- 8) 悪天候
- 9) 許可を受けていない操作者
- 10) 他の考えられる危険な状況

第 8 章 機能試験



警告：下記の場合を除いて機械を操作

することはできません。

本説明書に記載されている機械を安全に操作するための規則を理解し、実施している。

- 1) 危険な状況を避ける。
- 2) 操作前点検を必ず実施する。

次のステップに進む前に、機能試験と点検の方法について理解しておく必要があります。

- 3) 作業エリアを点検する。
- 4) 運転前の機能試験を必ず実施する。
- 5) 機械設計の適用範囲内でのみ使用する。

8.1 基本原則

- 1) 機械の使用前に故障を見つけるために機能試験を行います。
- 2) 操作者は、本説明書中の手順に従って機械の全機能を試験する必要があります。
- 3) 故障している機械は使用できません。機械に故障が見つかった場合、使用を停止してマークを付します。

- 4) 有資格の保守技術者のみが、製造元の規定に従って機械を保守することができます。
- 5) 保守後、操作者は機械の使用を開始する前に改めて操作前点検を行う必要があります。

8.2 機能試験

- 1) 堅固で水平で障害物のない場所で試験を行います。
- 2) バッテリーパックが接続されていることを確認します。

8.3 地上操作装置での試験

- 1) 上部操作装置と地上操作装置の両方で、緊急停止ボタン（赤色）を「オン」の位置にします。
- 2) キースイッチを地上操作装置位置に回します。
- 3) 上部操作装置の診断データ LED 表示画面を確認します。

8.4 非常停止の試験

- 1) 地上操作装置の緊急停止ボタン（赤色）を押し込んで「オフ」の位置にします。

結果：すべての機能が停止します。

- 2) 緊急停止ボタン（赤色）を引き出して「オン」の位置にします。

8.5 上昇/降下機能の試験



注意：中央警報システムは、ブザーを制御して、さまざまな周波数でアラーム音を鳴らします。降下アラームは 1 分間に 60 回鳴ります。ポットホールガードが展開していないときは、1 分間に 180 回ブザーが鳴ります。過荷重の場合、1 分間に 180 回ブザーが鳴ります。

- 1) キースイッチを上部操作装置またはオフの位置に回します。
- 2) 作業台昇降スイッチを引き上げたままにします。

結果：作業台は上がりません。

- 3) キースイッチを地上操作装置位置に回しま

す。

- 4) 作業台昇降スイッチを引き上げたままにします。

結果：作業台は上がります。

8.6 降下補助の試験

- 1) 作業台昇降スイッチを引き上げて作業台を約 60cm 上げます。

- 2) 機械の右側手前にある緊急降下制御ノブを引き出します。

結果：作業台は下がります。降下アラームは鳴りません。

- 3) キースイッチを上部操作装置位置に回します。

8.7 上部操作装置での試験

- 1) 上部操作装置の緊急停止ボタン（赤色）を押し込んで「オフ」の位置にします。

結果：すべての機能が停止します。

- 2) 緊急停止ボタン（赤色）を引き出して「オン」の位置にします。

結果：診断データ LED 表示画面のライトが点滅

します。

8.8 警音の試験

- 1) ホーンスイッチを押します。
- 2) 結果：警音が鳴ります。

8.9 上昇/降下機能とイネーブル機能の試験

- 1) 操作レバーのイネーブルボタンを押したままにしないでください。
- 2) 操作レバーを青色矢印の指す方向にゆっくり動かし、次に黄色矢印の指す方向に動かします。

結果：すべての機能が停止します。

- 3) ペダルスイッチを押します。
- 4) 昇降側スイッチを押します。
- 5) 操作レバーのイネーブルボタンを押したままにします。
- 6) 操作レバーを青色矢印の指す方向にゆっくり動かします。

結果：作業台は上がります。ポットホールガードが展開します。

- 7) 操作レバーを放します。

結果：作業台の上昇は停止します。

- 8) イネーブルボタンを押したままにしないでください。操作レバーを黄色矢印の指す方向にゆっくり動かします。

結果：作業台は下がります。作業台が下がっているときは降下アラームが鳴ります。

8.10 操舵の試験



注意：操舵機能と運転機能の試験を行う

ときは、作業台を機械の操舵ポートに向け、その上に立ちます。

- 1) ペダルスイッチを押します。
- 2) 運転機能選択ボタンを押すと、ライトが点灯します。
- 3) 操作レバーのイネーブルボタンを押したままにします。
- 4) 操作レバーの上部にあるトグルスイッチを、操作パネルの左矢印の示す方向に押します。

結果：操舵輪は、シャーシの左矢印の示す方向に動きます。

8.11 ブレーキ機能の試験

- 1) ペダルスイッチを押します。
- 2) 操作レバーのイネーブルボタンを押したままにします。
- 3) 機械が動き始めるまで、操作パネルの上矢印の指す方向にハンドルをゆっくりと動かし、次にハンドルを中央位置に戻します。

結果：機械は操作パネルの上矢印の示す方向に動いてから急に停止します。

 注意：ブレーキは、登坂可能ないかなる斜面でも、機械を停止できる状態でなければなりません。

8.12 運転機能の試験

- 1) 上昇機能選択ボタンを押すと、ライトが点灯します。ハンドルのイネーブルボタンを押したまま、ペダルスイッチを押し下げ、作業台を任意の高さ（下表を参照）に上げることができます。

型番	高度 (m)
SS0407E	1.55
SS0607E	1.37

S0607E	1.28
S0607	1.26
S0808	1.46
S0808E	1.54
AS1012	1.86

結果：ポットホールガードが展開します。

- 2) 運転機能選択ボタンを押すと、ライトが点灯します。
- 3) 操作レバーのイネーブルボタンを押したまま、操作レバーを機械が完全に動くところまでゆっくりと動かします。

結果：作業台が上がっている状態での最大運転速度は 0km/h を超えてはなりません。

結果：作業台上昇時の最大運転速度が 0km/h を越えた場合は、機械の使用を停止し、マークを付します。

8.13 傾斜センサ操作の試験

 注意：この試験は、上部操作装置を使用して地上で実施してください。作業台の中に立ってはいけません。

- 1) 作業台を完全に下ろします。
- 2) 片側の 2 つのタイヤをクッション (3.5×20cm) に向けて駆動します。

- 3) 作業台を一定の高さまで上げます。

結果：作業台は運転を停止し、傾斜アラーム

が1分間に120回鳴ります。

- 4) 運転操作レバーを上矢印の指す方向に動か

し、次に下矢印の指す方向に動かします。

結果：機械はどの方向にも動かなくなります。

- 5) 作業台を下げて障害物をどかします。

8.14 ポットホールガードの試験



注意：ポットホールガードは、作業台

の上昇時に自動で展開します。ポットホー

ルガードは、脱輪による転倒が予想される

ときに、リミットスイッチを起動して機械

の運転を停止しないようにします。ポット

ホールガードが展開しなかった場合、アラ

ームが鳴り、機械は運転を停止します。

- 1) 作業台を上げます。

備考：作業台が地面から一定の高さ(下表を参照)

まで上がると、ポットホールガードが展開します。

型番	高度 (m)
SS0407E	1.55
SS0607E	1.37
S0607E	1.28

S0607	1.26
S0808	1.46
S0808E	1.54
AS1012	1.86

- 2) まず、ポットホールガードの一方の側を押し、次に他方の側を押します。

結果：ポットホールガードは展開しません。

- 3) 作業台を下げます。

結果：ポットホールガードが元の位置に戻ります。

- 4) ポットホールガードの下に、クッション (3.5

×20cm) または同様のサイズの木製ブロック

を置きます。作業台を上げます。

結果：作業台が地面から一定の高さまで上がった

ときに、アラームが鳴ります。このとき機械は走

行することも動くこともできません。

- 5) 作業台を下ろし、木製ブロック (3.5×20cm)

を取り出します。

第 9 章 操作説明



警告：下記の場合を除いて機械を操作

することはできません。

本説明書に記載されている機械を安全に操作するための規則を理解し、実施している。

- 1) 危険な状況を避ける。
- 2) 操作前点検を必ず実施する。
- 3) 作業エリアを点検する。
- 4) 運転前の機能試験を必ず実施する。
- 5) 機械設計の適用範囲内でのみ使用する。

9.1 基本原則

- 1) 本高所作業車は、シザース上に作業台を備えた自走式昇降装置です。機械の作動中に振動が発生しますが、作業台に立っている操作者に危険は及びません。本機を使用して、地面から特定の高さで作業員や工具を載置したり、機械や装置の上にある作業エリアに到達したりできます。
- 2) 操作手順のセクションでは、機械操作のすべての態様に関する具体的な手順を説明します。操作者は責任をもって、操作および保守マニュアルに記載されているすべての安全

上の規則や指示を遵守するものとします。

- 3) 本機を、人員、機械、工具、資材を空中作業エリアに持ち上げる目的以外に使用することは安全でなく、むしろ危険です。
- 4) 本機の操作は、訓練され、認可を受けた担当者のみが行うようにしてください。複数の操作者が、同じ作業シフトの異なる時間帯に同じ機械を使用する場合、全員が有資格の操作者であり、操作および保守マニュアルに記載されたすべての安全規制と指示を遵守する必要があります。つまり、操作者は、機械を始めて操作する場合は常に、

機械の使用前に操作前点検、機能試験、作業

エリア点検を実施しなければなりません。

9.2 非常停止

- 1) 地上操作装置または上部操作装置の緊急停

止ボタン（赤色）を「オフ」位置に押すと、

すべての機能は停止します。

- 2) 機械の修理は、緊急停止ボタン（赤色）が押

されている間に行わなければなりません。

9.3 緊急降下

緊急降下ケーブルアセンブリを外側に引きます。

9.4 地上で緊急降下を行う場合

- 1) キースイッチを地上操作装置位置に回しま

す。

- 2) 地上操作装置と上部操作装置の両方の緊急

停止ボタン（赤色）を「オン」の位置にしま

す。

- 3) 機械を操作する前に、バッテリーが正しく接

続されていることを確認します。

9.5 作業台の位置の調節

制御パネルの表示に従って作業台昇降スイッチ

を動かします。運転機能とおよび操舵機能は、地

上操作装置で行うことはできません。

9.6 作業台で緊急操作を行う場合

- 1) キースイッチを上部操作装置位置に回しま

す。

- 2) 地上操作装置と上部操作装置の両方の緊急

停止ボタン（赤色）を「オン」の位置まで引

きます。

- 3) 機械を操作する前に、バッテリーが正しく接

続されていることを確認します。

9.7 作業台位置の調節

- 1) ペダルスイッチを押します。

- 2) 昇降側スイッチを押します。

- 3) 操作レバーのイネーブルスイッチを押した

ままにします。

- 4) 制御パネルの表示に従って操作レバーを動

かします。操作レバーを前方に動かすと作業

台は上がり、操作レバーを後方に動かすと作

業台は下がります。

行方向を決めます。

9.8 操舵

- 1) ペダルスイッチを押します。
- 2) 運転機能選択ボタンを押します。
- 3) 操作レバーのイネーブルボタンを押したままにします。
- 4) 操作レバー上部のトグルスイッチで操舵輪を回します。

- 6) 作業台が上がると、機械の移動速度は制限されます。
- 7) バッテリーの状態は機械の機能状態に対応しています。
- 8) バッテリー残量のライトが点滅しているときは、機械の運転速度は低下します。

9.9 運転

- 1) ペダルスイッチを押します。
- 2) 運転機能選択ボタンを押します。
- 3) 操作レバーのイネーブルボタンを押したままにします。
- 4) 加速するときは、操作レバーを中央位置から離れるようにゆっくりと動かします。

減速するときは、操作レバーを中央位置に向けてゆっくりと動かします。

停止するときは、操作レバーを中央位置まで戻すか、イネーブルスイッチを放します。

- 5) 上部操作装置と作業台上の矢印で機械の進

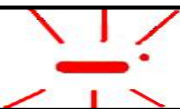
9.10 運転速度の選択

運転コントローラーには、2つの異なる運転速度モードがあります。低速モードが点灯しているときは、低速運転モードが有効になっています。低速モードが消灯しているときは、高速運転モードが有効になっています。いずれかの低速モードを押して、所望の運転速度を選択できます。

9.11 地上操作装置での操作

- 1) 操作者、機械、固定された物体の間に距離を置いて安全を確保します。
- 2) コントローラーを使用するときは、機械の進行方向に注意してください。
- 3) 診断データ LED 表示画面でバッテリー残量

を確認します。

作業台ディスプレイ	バッテリー残量 (%)	説明
	90～100	満充電
	70	充電された残量
	50	充電された残量
	30	充電された残量
	20	要充電
	10	バッテリー残量低

 注意：バッテリー残量が非常に低い

(10%以下) のとき、機械は自動で低速運転モードに切り替わります。

9.12 安全アームの使用方法

- 1) 作業台を地面から一定の高さ(下表を参照) まで上げます。

型番	高度 (m)
SS0407E	1.8
SS0607E	2.8
S0607E	2.5
S0607	
S0808	2.7
S0808E	
AS1012	4

- 2) 安全アームを持ち上げ、シザースのスリーブ中央に移動させ、垂直状態になるまで上向きに回転させます。
- 3) 安全アームがスリーブ管に完全に接触するまで作業台を下げます。作業台を下げるときは、可動部位に近づけないようにします。

 危険：安全アームサポートを使用するときは、作業台に荷重をかけてはいけません。安全アームサポートは、無負荷で長時間（8 時間）使用しないでください。

9.13 手摺りを折り畳む方法（装備されている場合）

SS0407E/S0808E/S0808 作業台手摺りシリーズは、延長デッキの折り畳み式手摺りと、作業台の折り畳み式手摺りとで構成されています。すべての部

品は 4 本の D 型ピンで所定の位置に固定されてい

します。

ます。

- 1) 作業台を完全に下げて延長デッキをロック

します。

- 2) 上部操作装置を取り外します。

- 3) 作業台と延長デッキの手摺りの間の M 型固

定板を作業台の内側から取り外し、作業台に
配置します。

- 4) 延長デッキ前側にある 2 本の D 型ピンを、作
業台の内側から取り外します。

- 5) 延長デッキの前手摺りを内側に反転させま

す。手を挟まないようにしながら、延長デッ
キの左右の手摺りを転倒しないように支え
ます。

- 6) 取り外した 2 本の D 型ピンを手摺り支柱の
両側に取り付けます。

- 7) 延長デッキの左手摺りを内側に反転させ、
手を挟まないようにしながら、延長デッキ
の右手摺りを転倒しないように支えます。

- 8) 延長デッキの右手摺りを内側に反転させま
す。手を挟まないようにしてください。

- 9) 作業台の扉柵上部の 2 本 D 型ピンを取り外

- 10) 手摺りをはしごや地面から内側に押し、手

を挟まないようにしながら、作業台の左右
の手摺りを転倒しないように支えます。

- 11) 作業台の左手摺りをはしごや地面から内側

に押し、挟まれる可能性のある場所に手を
置かないでください。手を挟まないように
しながら、作業台の左右の手摺りを転倒し

ないように支えます。作業台の右手摺りを
はしごまたは地面から内側に押し、手を挟
まないようにしてください。

- 12) 取り外した 2 本の D 型ピンを手摺りの両側
に取り付けます。

AS1012 作業台手摺りシリーズは、延長デッキの

折り畳み式手摺りと、作業台の折り畳み式手摺り
とで構成されています。すべての部品は 4 本の D
ピンで固定されています。

- 1) 作業台を完全に下げて延長デッキをロック
します。

- 2) 上部操作装置を取り外します。

- 3) 作業台と延長デッキの手摺りの間の M 型固
定板を作業台の内側から取り外し、作業台に

配置します。

を転倒しないように支えます。

- 4) 延長デッキ前側にある2本のD型ピンを、作業台の内側から取り外します。

- 12) 取り外した2本のD型ピンを手摺りの両側に取り付けます。

- 5) 延長デッキの前手摺りを内側に反転させます。手を挟まないようにしながら、延長デッキの左右の手摺りを転倒しないように支えます。

9.14 手摺りを組み立てる方法

手摺りの折り畳み方法の手順に従いますが、逆の順序で行います。

- 6) 取り外した2本のD型ピンを手摺り支柱の両側に取り付けます。

9.15 延長デッキの延長と引っ込め

- 7) 延長デッキの左手摺りを内側に反転させ、手を挟まないようにしながら、延長デッキの右手摺りを転倒しないように支えます。

- 1) 延長デッキの定位置ペダルを踏みます。

- 2) 延長デッキの手摺りを押し、作業台を所望に位置まで延長します。

- 8) 延長デッキの右手摺りを内側に反転させます。手を挟まないようにしてください。

 注意：作業台を延長しようとするとき

は、延長デッキの上に立たないでください。

- 9) 扉と扉柵上部の2本のD型ピンを取り外します。

- 10) 扉柵をはしごや地面から内側に押し、手を挟まないようにしながら、作業台の左右の手摺りを転倒しないように支えます。

- 11) 左右の手摺りをうまく折り畳めるまで、はしごや地面から半扉を回転させます。手を挟まないようにしながら、作業台の左右の手摺り

9.16 エラー状態（アラームコード）

 エラー状態では、ECU と PCU のディスプレイで、アラームコードが 1 秒に 1 回点滅します。

表：アラームコード

表示	説明	機械の状態
01	システム初期化エラー	すべての動作が停止する
02	システム通信エラー	すべての動作が停止する
03	未設定の機械コードが初めて使用された	すべての動作が停止する
04	設定されたコードが無効である	すべての動作が停止する
06	パラメーターのリモート送信成功メッセージ	アラーム表示のみ
07	二段階車両ロックアラーム	上昇不可、走行不可
08	計量校正データの送信成功メッセージ	アラーム表示のみ
09	機能構成/設定エラー	いかなる動作もできない
12	起動時にシャーシの上昇/降下ボタンが正しくオンにならない	すべてのシャーシ機能が停止する
18	ポットホールガードエラー	上昇と走行が停止する
27	比例電磁弁の故障	上昇不可、走行不可
31	圧力センサエラー	すべての動作が停止する
32	角度センサエラー	すべての動作が停止する
33	1412 軽荷重モードデータ校正エラー	ハンドル操作による上昇不可
35	校正データエラー	アラーム表示のみ
36	バッテリー残量不足アラーム	速度は昇降後の走行速度まで低下する
38	過荷重機能が有効で、計量が行われていない	ハンドル操作による上昇不可
39	バッテリー液位レベルスイッチが、バッテリー液位レベルが低いことを検出した	アラーム表示のみ
40	ECU と GPS のハンドシェイク失敗アラーム	上昇不可、走行不可
41	作業台で車両をロック状態にする（GPS 機能を備えた ECU にのみ適用可能）	走行可、上昇不可

42	起動時に作業台左操舵ボタンを押し間違えた	アラーム表示のみ
43	起動時に作業台右操舵ボタンを押し間違えた	アラーム表示のみ
46	起動時に作業台ハンドルイネーブルスイッチを押し間違えた	作業台制御不可
47	起動時に作業台ハンドルが中央位置になかった	車両速度は上昇後の速度まで低下する
52	順方向コイルエラー	上昇と走行が停止する
53	逆方向コイルエラー	上昇と走行が停止する
54	展開状態上昇コイルエラー	上昇と走行が停止する
55	展開状態降下コイルエラー	上昇と走行が停止する
56	右回転コイルエラー	上昇と走行が停止する
57	左回転コイルエラー	上昇と走行が停止する
58	ブレーキコイルエラー（ブレーキコイルはオプションです。この機能は暫定的に利用できません）	上昇と走行が停止する
60	モーター制御器エラー	上昇不可、走行不可（TRIPLAT のみ）
61	電気駆動モーター制御器の電流センサエラー（走行モーターまたは上昇モーターが過熱）	アラーム表示のみ
62	モーター制御器のハードウェア故障エラー	アラーム表示のみ
63	モーター制御器のモーター出力エラー	アラーム表示のみ
64	モーター制御器の SRO エラー	アラーム表示のみ
65	モーター制御器の絞り弁エラー	アラーム表示のみ
66	モーター制御器の緊急逆方向エラー	アラーム表示のみ
67	モーター制御器の HPD エラー	アラーム表示のみ
68	低電圧警報	すべての動作が停止する
69	強/中電流（MC はこの時点では存在しないはずのモーターの電流を検出している）	上昇不可、走行不可
70	操舵入力範囲外（操舵入力の電圧が不適切である）	上昇不可、走行不可
71	モーター制御器の主接触器エラー	動作不可
72	モーター制御器の過電圧エラー	アラーム表示のみ
73	モーター制御器の熱減少エラー	アラーム表示のみ
74	モーター制御器のモーターエラー	アラーム表示のみ
75	モーター制御器のポンプモーターエラー	アラーム表示のみ
76	モーター制御器の左駆動モーターエラー	上昇不可、走行不可

77	モーター制御器の右駆動モーターエラー	上昇不可、走行不可 (TRIPLAT) アラーム表示のみ (COMBIACX)
78	ポンプモーターの短絡エラー	アラーム表示のみ (TRIPLAT) 上昇不可、走行不可 (COMBIACX)
79	左駆動モーターの短絡エラー	上昇不可、走行不可
80	80%超荷重アラーム	アラームのみ
81	右駆動モーターの短絡エラー	上昇不可、走行不可
82	左ブレーキコイルエラー	上昇不可、走行不可
83	右ブレーキコイルエラー	上昇不可、走行不可
84	モーター制御器の短絡エラー	上昇不可、走行不可
85	ブレーキ解除スイッチエラー	アラーム表示のみ
86	ブレーキ解除無効エラー	アラーム表示のみ
87	ブレーキ接続不良	アラーム表示のみ
89	モーター保護機能起動エラー	上昇不可、走行不可
90	90%超荷重アラーム	アラーム表示のみ
91	左駆動モーターの保護短絡	上昇不可、走行不可
92	右駆動モーターの保護短絡	上昇不可、走行不可
99	99%超荷重アラーム	アラームのみ
OL	作業台過荷重アラーム	すべての動作が停止する
LL	機器が安全限界を超えて傾斜している	上昇不可、走行不可

表：トラブルシューティングガイド

表示	説明
01	システム初期化エラー：ECU が故障している可能性があります。ECU を交換してください。
02	システム通信エラー：通信回線などのケーブル接続を確認してください。それでも解決しない場合は、PCU または ECU を交換してください。
03	無効なオプション設定エラー：機械に適切なオプションを設定してください。
04	選択された機械コードが範囲外です。機種に応じて選択し直してください。
06	パラメーターのリモート送信成功メッセージです。再起動してください。
07	GPS プラットフォームからロックコマンドが送信されたかどうかを判断します。
08	校正データの送信成功メッセージです。再起動してください。
09	機能的位置が設定されているかどうか確認します。

12	起動時のシャーシ上昇/降下ボタンのエラー：トグルスイッチの配線を検査するか、トグルスイッチが動かなくなっていないか確認してください。
18	脱輪転倒防止機能エラー：脱輪転倒防止機能が有効になっているか確認し、脱輪転倒防止リミットスイッチを検査してください。スイッチの配線、下限リミットスイッチ、配線を検査してください。
27	比例弁が正しく配線されているか確認してください。
31	圧力センサのエラー：センサ自体だけでなく、センサの配線も検査してください。また、過荷重検出が可能な正しい機能が設定がされていることも確認します。
32	角度センサのエラー：センサ自体だけでなく、センサの配線も検査してください。また、過荷重検出が可能な正しい機能が設定がされていることも確認します。
33	1412 軽荷重モードでの過荷重計量機能を校正できなかった：もう一度計量校正を行ってください。
35	校正プロセスの手順が正しいか確認してください。
36	車両全体の電圧が低すぎないか、充電が必要であることを確認してください。
38	過荷重計量機能を校正できなかった：もう一度計量校正を行ってください。
39	バッテリー液面レベルが低すぎる：バッテリーの液面レベルを検査し、レベルが低すぎる場合は電解液を補充してください。液面レベルスイッチが正しく取り付けられているか確認してください。
40	GPS 切断エラー：接続状態を確認してください。
41	プラットフォームからロック解除コマンドを送信します（GPS 機能を備えた ECU の場合のみ）
42	起動時に作業台左操舵ボタンを押し間違えた：ハンドルのボタンを不要に押しているものがないか確認してください。何もなかった場合は、ハンドルまたは PCU の交換を検討してください。
43	起動時に作業台右操舵ボタンを押し間違えた：ハンドルのボタンを不要に押しているものがないか確認してください。何もなかった場合は、ハンドルまたは PCU の交換を検討してください。
46	起動時に作業台ハンドルのイネーブルスイッチを押し間違えた：ハンドルのイネーブルスイッチを不要に押しているものがないか確認してください。何もなかった場合は、ハンドルまたは PCU の交換を検討してください。
47	起動時に作業台ハンドルが中央位置になかった：ハンドルを中央位置に戻してください。中央位置のパラメーター設定を確認してください。問題がなかった場合は、ハンドルまたは PCU の交換を検討してください。
52	順方向コイルエラー：コイルの接続を検査し、問題がないか確認してください。問題がなかった場合は、シザースコイル自体が短絡または断線していないか検査してください。
53	逆方向コイルエラー：コイルの接続を検査し、問題がないか確認してください。問題がなかった場合は、シザースコイル自体が短絡または断線していないか検査してください。
54	吊り上げ上昇コイルエラー：コイルの接続を検査し、問題がないか確認してください。問題がなかった場合は、シザースコイル自体が短絡または断線していないか検査してください。
55	吊り上げ降下コイルエラー：コイルの接続を検査し、問題がないか確認してください。問題がなかった場合は、シザースコイル自体が短絡または断線していないか検査してください。
56	右回転コイルエラー：コイルの接続を検査し、問題がないか確認してください。問題がなかった場合は、シザースコイル自体が短絡または断線していないか検査してください。
57	左回転コイルエラー：コイルの接続を検査し、問題がないか確認してください。問題がなかった場合は、シ

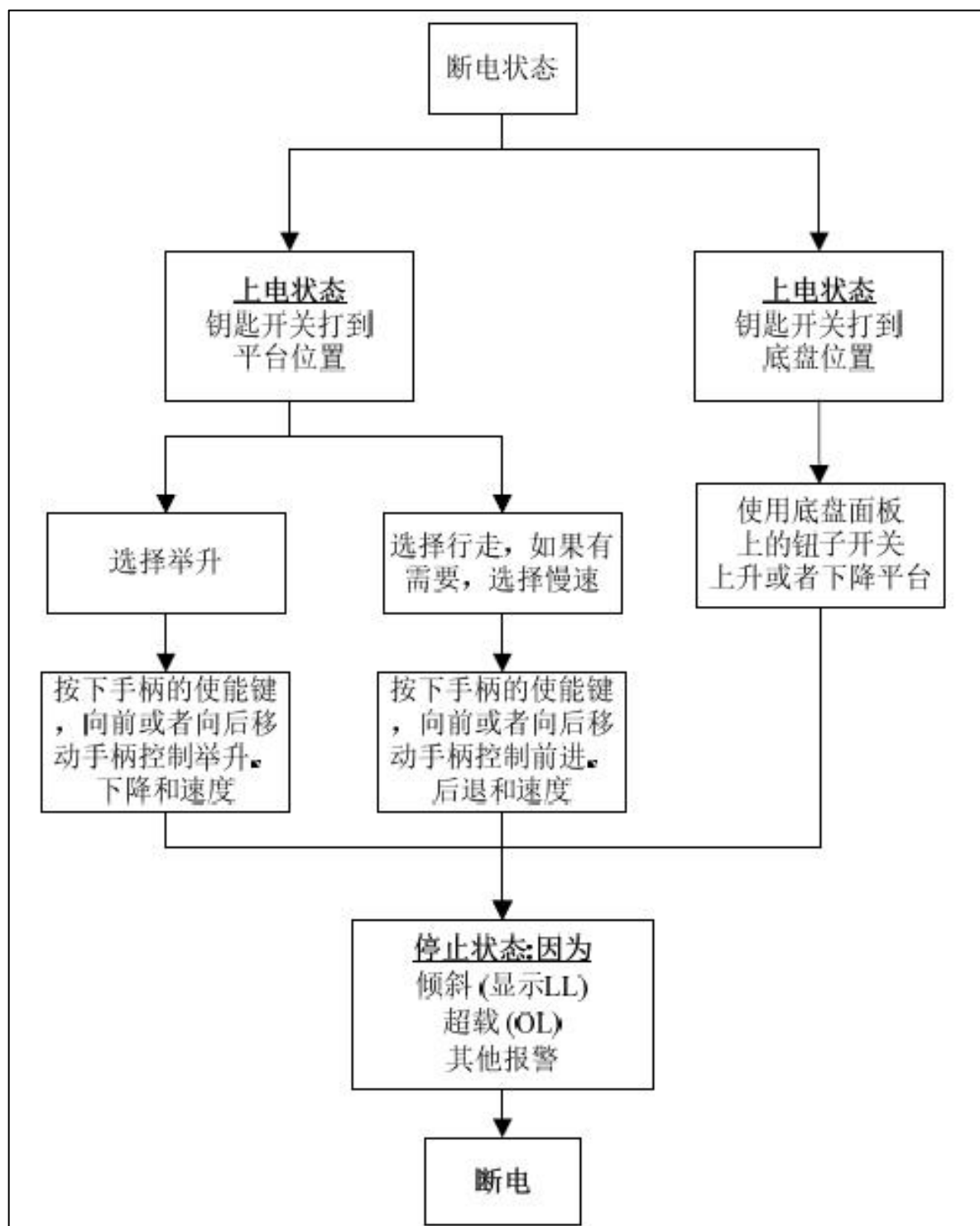
	ザースコイル自体が短絡または断線していないか検査してください。
58	順方向コイルエラー：コイルの接続を検査し、問題がないか確認してください。問題がなかった場合は、シザースコイル自体が短絡または断線していないか検査してください。
60	モーター制御器を検査してください。
61	機械を冷却し、配線を検査します。配線に問題がない場合は、モーター制御器を交換してください。
62	機械を再起動してください。それでも解決できない場合は、原因を調べ、原因が見つからない場合は、モーター制御器を交換してください。
63	配線を検査してから、再起動してください。必要に応じて、モーター制御器を交換してください。
64	モーターパラメーター「enable delay」を確認してください。遅延が短すぎる可能性があります。パラメーターが正しいことを確認してください。
65	配線を検査し、モーター制御器で正しい絞リ弁タイプが選択されていることを確認してください。
66	モーター制御器で緊急逆方向検査パラメーターがオフに設定されていることを確認してください。
67	モーターパラメーター「enable delay」が短すぎる可能性があります。他のモーター制御器パラメーターが正しく選択されていることを確認してください。
68	低電圧エラー：バッテリー電圧を検査し、必要に応じて充電します。バッテリーとスイッチの接続を検査し、補強または清掃してください。PCU と ECU の電圧が正常であるか確認してください。
69	MC は、この時点では存在しないはずのモーター制御器の電流を検出しており、ブレーキがかかっていると判断しています。
70	配線が緩んでいるため、ZAPI の微調整やトグル電圧の検査が必要です。
71	主接触器の配線を検査するか、必要に応じて接触器を交換するか、モーター制御器を交換してください。
72	バッテリー電圧を検査し、充電されているかどうかを確認します。それでも解決しない場合は、モーター制御器を交換してみてください。
73	機械を再起動するか、モーター制御器を交換します。
74	モーター配線を検査するか、モーター制御器を交換します。
75	ポンプモーターの配線を検査し、機械を再起動するか、モーター制御器を交換します。
76	左駆動モーターの配線を確認し、機械を再起動するか、モーター制御器を交換します。
77	モーター配線を検査し、機械を再起動するか、モーター制御器を交換します。
78	ポンプモーターの配線を検査し、機械を再起動するか、モーター制御器を交換します。
79	モーターの接続を検査し、接続に問題がないことを確認し、モーターの短絡を検査します。
80	80%超荷重アラーム：作業台は荷重限界に近づいています。それ以上荷重を増やさないことを検討してください。
81	モーターの接続を検査して接続に問題がないことを確認し、モーターの短絡を検査します。
82	コイル端子の接続を検査して接続に問題がないことを確認し、コイル自体が正しく接続されているか確認します。
83	コイル端子の接続を検査して接続に問題がないことを確認し、コイル自体が正しく接続されているか確認し

	ます。
85	ブレーキの接続が正しいか検査します。
86	ブレーキの接続が正しいか検査します。
87	ブレーキの接続が正しいか検査します。
89	モーター回路の接続状態を検査します。
90	90%超荷重アラーム：作業台は荷重限界に近づいています。それ以上荷重を増やさないことを検討してください。
91	左駆動モーターが短絡していないか検査します。
92	右駆動モーターが短絡していないか検査します。
99	99%超荷重アラーム：作業台は荷重限界に近づいています。それ以上荷重を増やさないことを検討してください。
OL	作業台の過荷重エラー：思い荷重をすぐに取り除いてください。
LL	機械が安全限界を超えて傾斜している：機器が傾斜したときは、水平に戻してみてください。機械が水平になっている場合は、レベルセンサの配線やセンサ自体を検査してください。

履歴エラー状態

- 1) コントローラーは、過去直近の 10 個のエラーアラームコードを表示することができます。ハンドル上部の右回転ボタンを長押しし、10 秒間保持し（ハンドルのイネーブルボタンを押したままにしないでください）、履歴エラー状態に入ります。
- 2) 左回転ボタンを押すと、過去のエラーコードを一番古いものまでスクロールできます。右回転ボタンを押すと、エラーコードの履歴を逆方向にスクロールして、一番新しいものを確認できます。エラーコードについては上記表を参照してください。
- 3) ハンドルのイネーブルスイッチを押すと、通常の操作に戻ることができます。

9.17 操作フローチャート



第 10 章 クレーンを使用した機械の搬送について

 警告：次の事項を遵守してください。

- クレーンで機械を持ち上げる際には、適切な判断を行い、計画的に機械の動きを制御してください。
- 機械の積み下ろしができるのは、高所での吊り上げ作業の資格を有する人員のみです。
- 搬送車両は平地に停車する必要があります。
- 機械の積み下ろしの際には、搬送車両を動かないように固定します。
- 搬送車両の能力、積載面、チェーンまたはベルトが機械の重量を支えるのに十分であることを確認してください。機械の重量については銘板を参照してください。
- ブレーキを解除する前に、機械を水平面に置くか、固定しておく必要があります。
- 上り坂、下り坂、傾斜が定格の斜面では機械を運転しないでください。「操作

説明」に記載されている「斜面での運転と走行」を参照してください。搬送車両の傾斜が最大傾斜定格を超える場合は、ブレーキ解除操作で説明するようにウインチを使用して機械の積み下ろしを行う必要があります。

10.1 ブレーキ解除操作

 衝突の危険：

ブレーキを解除する前に機械をしっかりと固定しないと、死亡または重傷を負うことになります。

1. 機械を堅固で安全な水平面に置くようにします
2. タイヤ留めでタイヤを固定します
3. ブレーキを解除します

10.1.1 ブレーキ解除操作（電気駆動機種）

 注意：

ブレーキ解除操作を行う前に、主電源を投入し、シャーシの操作レバーと緊急停止ボ

タンの電源を切っておく必要があります。

します

1. キーによる解除（装備されている場合）

 衝突の危険：

ブレーキを解除する前に機械をしっかりと固定しないと、死亡または重傷を負うことになります。

1. 機械を堅固で安全な水平面に置くようにします

2. タイヤ留めでタイヤを固定します

3. ブレーキを解除します

ブレーキ解除操作

1) シャーシが滑らないようにタイヤ留めでタイヤを固定します

2) ウインチケーブルをシャーシのフックに結び付け、道路に障害物がないことを確認します



3) キースイッチを右に回してブレーキを解除

ブレーキ解除操作の後：

1) シャーシが滑らないようにタイヤ留めでタイヤを固定します

2) ブレーキをリセットするには、キースイッチをオフの位置にします

2. 機械全体の電源が切れているか、機械全体の電圧が 10V 未満の場合、

次のように操作します：

1. 駆動モーター端部のねじを緩めます



2. ブレーキディスクのネジ穴にボルト（M6x25）をねじ込みます。



 注意：SS シリーズの駆動モーターは、

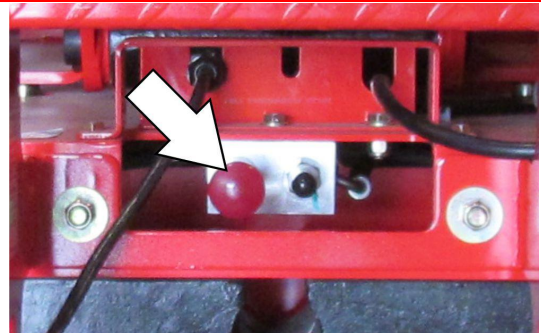
ブレーキディスクのネジ穴に M3x20 のボルトをねじ込む必要があります。

3. 時計回りに回してボルトをねじ込みます。ブレーキクリアランスが 0.08mm を超えると、ブレーキが解除されます。調整後、ブレーキディスクを元の状態に戻します。



10.1.2 ブレーキ解除操作（流体駆動機種）

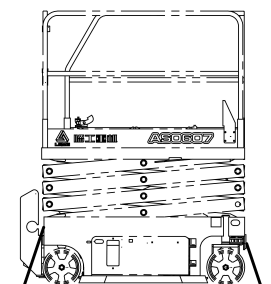
- 1) 機械が動かないように、タイヤにタイヤ留めを挟みます。
- 2) ウインチケーブルをシャーシのフックに正しく結び付け、道路に障害物がないことを確認します。
- 3) 黒色のブレーキ解除ノブを押して、ブレーキ弁を開きます。



- 4) 赤色のブレーキ解除ポンプの部を押したり引いたりします。

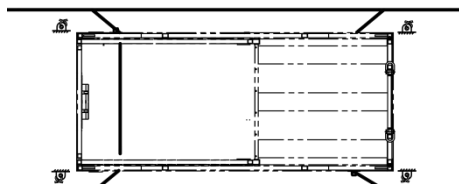
10.2 安全な搬送

- 1) 搬送の準備をするときは、必ず機械のタイヤをロックしてください。
- 2) 延長デッキを引っ込めて固定します。
- 3) 搬送前に、キースイッチを「オフ」の位置にして、次にキーを取り外します。
- 4) 前輪と後輪をそれぞれタイヤ留めで固定し、緩んでいる部品や固定されていない部分がないか徹底的に点検します。
- 5) シャーシのフックで機械を搬送台に固定します。



ルトまたはロープが機械の重量を支えるのに十分であることを確認してください。銘板のシリアルナンバーをご覧ください。

- 6) 少なくとも4本のチェーンまたはベルトを使用します。

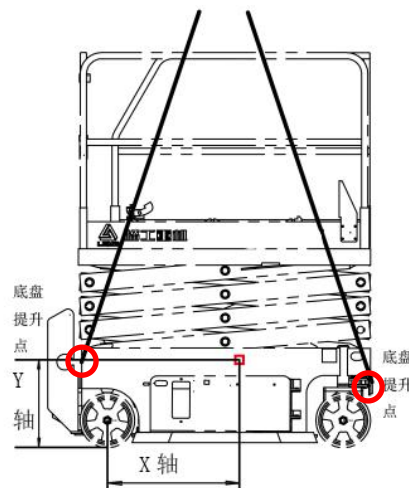


- 7) 使用するチェーンまたはベルトに十分な荷重強度があることを確認します。
- 8) 手摺りが折り畳まれている場合は、搬送雨にベルトで固定します。



警告：次の事項を遵守してください。

- 有資格の吊り上げ担当者のみが、固定具を組み立てて機械を持ち上げることができます。
- フォークリフトの運転資格を持つ者のみが、フォークリフトを使用して機械を積み下ろすことができます。
- クレーンの吊り上げ能力、積載面、ベ



型番	X 軸 (mm)	Y 軸 (mm)
SS0407E	636.31	543.45
SS0607E	835.1	579.4
S0607E	591.94	551.1
S0607	591.94	551.1
S0808	852	590
S0808E	900	590
AS1012	892	663

10.3 フォークリフトでの機械持ち上げ

- 1) 延長デッキ、コントローラー、シャーシトレイが安全かつ確実に固定されていることを確認します。機械からすべての可動部品を取り外します。
- 2) 作業台を完全に下ろします。出荷時は常に作業台を収縮させておく必要があります。
- 3) はしごの両側にあるフォークリフトの切り欠きを使用します。
- 4) フォークリフトの切り欠きの位置にフォークリフトのフォークの脚を配置します。
- 5) 前方に移動し、フォークを切り欠きに完全に挿入します。
- 6) 機械を 15cm 持ち上げてから、フォークを少し後ろに傾けて機械を安定させます。
- 7) フォークを下げるときは、機械が水平になるようにします。

 注：機械を横から持ち上げると、部品が破損する恐れがあります。

10.4 持ち上げ方法

- 1) 作業台を完全に下ろします。延長デッキ、コントローラー、シャーシトレイが安全かつ確実に固定されていることを確認します。機械からすべての可動部品を取り外します。

 注意：機械の重心を左図に示します。

- 2) 吊り具は、機械の所定の持ち上げ地点にのみ取り付けてください。
- 3) 機械を持ち上げるために使用する2つの細長い穴が、機械の前面と後面とにそれぞれ設けられています。
- 4) 機械の損傷を防ぎ、機械を水平に保つためにロックを調節します。

10.5 駐車と保管

駐車および保管するための手順を以下に示します。

- 1) 十分な保護があり、通気性の良い場所に機械を移動します。
- 2) 作業台が完全に下がっていることを確認します。

- 3) 緊急停止ボタンを「オフ」の位置にします。
- 4) 必要に応じて、操作パネル、注意、警告のラベルにカバーで覆い、過酷な外部環境の影響を受けないようにします。
- 5) 機械を長期間駐車する場合は、少なくとも両側のタイヤにタイヤ留めを挟んでおきます。
- 6) 電源セレクトスイッチを「オフ」の位置に回し、キーを取り外して機械を起動できないようにし、機械の不正使用を防ぎます。
- 7) オプションでバンダルプルーフカバーが装備されている場合は、作業台と地上操作装置箱をカバーしてロックし、侵入を防ぐことができます。

第 11 章 付録

保守の要点

定期点検と保守間隔スケジュール表

保守レベル	定期点検	保守レベル 1	保守レベル 2	保守レベル 3	保守レベル 4	保守レベル 5
		25 時間/1 か	50 時間/3 か	100 時間/6 か	200 時間/12	400 時間/24
保守周期	毎日	月	月	月	か月	か月

 注意：作業時間は 1 時間単位のスケジュールに基づいています。

各レベルの保守項目については下表を参照してください

保守 項目	作業内容	保守レベル					
		定期 点検	保守 レベ ル 1	保守 レベ ル 2	保守 レベ ル 3	保守 レベ ル 4	保守 レベ ル 5
電気 シス テム	バッテリー容量	●	●	●	●	●	●
	PCU パネルのボタンが正常に動作するか	●	●	●	●	●	●
	PCU 緊急停止ボタンが堅固であるか	●	●	●	●	●	●
	スイッチ操作の感度	●	●	●	●	●	●
	ばねハーネスが破損していないか	●	●	●	●	●	●
	PCU ワイヤーハーネスのインサートが堅固で あるか	●	●	●	●	●	●
	PCU ワイヤーハーネスのインサートが汚れて いないか	●	●	●	●	●	●

PCU ハーネスが押し出されたり破損したりしていないか	●	●	●	●	●	●
圧力スイッチの配線が堅固であるか	●	●	●	●	●	●
下降ソレノイドバルブが堅固であるか	●	●	●	●	●	●
レベルセンサとチルトセンサーの配線が堅固であるか	●	●	●	●	●	●
各リミットスイッチの揺動アームの位置や配線が緩んでいないか	●	●	●	●	●	●
角度センサハーネスとプラグインが堅固であるか	●	●	●	●	●	●
下部操作パネルの緊急停止ボタン、キースイッチ、プラグスイッチ、配線が緩んでいないか	●	●	●	●	●	●
警告灯と警音機能が正常か	●	●	●	●	●	●
モーター、モーター制御器、リレー、ECU の配線が緩んでいないか	●	●	●	●	●	●
主バルブ群の各ソレノイドバルブコイルの配線が正常か、緩んでいないか	●	●	●	●	●	●
充電器の配線の緩み、腐食	●	●	●	●	●	●
バッテリーキャップの緩み、腐食	●	●	●	●	●	●
バッテリーの検査	●					

	機械の性能と各種リミットスイッチ	●					
	各種コネクタの接続の緩み、干渉、腐食	●	●	●	●	●	●

保守 項目	作業内容	保守レベル					
		定期 点検	保守 レベ ル 1	保守 レベ ル 2	保守 レベ ル 3	保守 レベ ル 4	保守 レベ ル 5
油圧 シス テム	システムの圧力が正常かを監視する	●	●	●	●	●	●
	上昇システムの圧力が正常かを監視する	●	●	●	●	●	●
	操舵システムの圧力が正常かを監視する	●	●	●	●	●	●
	走行システムの圧力が正常かを監視する	●	●	●	●	●	●
	オイルパイプとジョイントが緩んでいないか	●	●	●	●	●	●
	オイルシリンダーに漏れがないかを検査する	●	●	●	●	●	●
	各バルブコアに漏れがないかを検査する	●	●	●	●	●	●
	シザースオイルパイプが堅固であるかを検査する	●	●	●	●	●	●
	走行オイルパイプの固定カードが緩んでいないか検査する	●	●	●	●	●	●
	油圧オイルタンクの液面レベル位置を検査する	●	●	●	●	●	●
	作動油量の交換	1 年に 1 度交換する					
	油圧戻り油フィルタカートリッジ	半年に 1 度交換する					

	油圧オイルタンクの排気キャップの漏れを検査する	●	●	●	●	●	●
	油圧オイルタンクの排気キャップを交換する			●	●	●	
	減速機潤滑油を交換する	最初は 50 時間使用後に保守を行い、その後は 200 時間間隔で行う。					
機械 全体	シザースに異常音がないか検査する					●	●
	スライダーを検査、交換する					●	●
	機械全体のボルトの緩み、異常音	●					
	シザースアーム、各スナップリング、ガスケットの故障を検査する	●					
	緊急下降装置が正常か検査する	●					
	作業台、シザース、シャーシの変形、溶接割れを検査する	●					
	車両全体の塗装がはがれていないか検査する	●					
	安全標識が整備され、汚損がないか検査する	●					
	取扱説明書とラベルの欠落、不明瞭、破損を検査する	●					
	機械の性能と各種リミットスイッチ	●					
潤滑	ステアリングナックルの潤滑	1 月に 1 回潤滑する					

オイル製品の選択

最低気温	作動油量型番
------	--------

最低気温>-9℃	L-HM（高圧）46耐摩耗性油圧 オイル
-33℃<最低気温≤-9℃	L-HV46低温油圧オイル
-39℃<最低気温≤-33℃	L-HS46超低温油圧オイル
最低気温≤-39℃	No.10航空油圧オイル